

# 全船協

会報142号 2020年1月 新春号



AGORA III

株式会社アキタフーズ提供



一般社団法人 全日本船舶職員協会

JAPAN MARITIME OFFICERS' ASSOCIATION

無料船員職業紹介所(国土交通省許可第8号)

URL <https://www.zensenkyo.com>

<p><b>山友汽船株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 望月正信</p> <p>〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1番1号 TEL (078) 371-5505 FAX (078) 371-5520 Email: info@sanyukisen.co.jp</p> <p><b>B&amp;S ENTERPRISE</b></p> <p>株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ TEL (078) 361-6971 FAX (078) 361-6972 Email: info@bands-k.com</p>	 <p><b>北星海運株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 佐藤有造</p> <p>〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号 セントラルビル6階</p> <p>電話 (03) 3275-5520(代) FAX (03) 3275-5575</p>
<p>一般社団法人 <b>日本船長協会</b></p> <p>会長 葛西 弘樹</p> <p>〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 (海事センタービル5階)</p> <p>電話 (03) 3265-6641 FAX (03) 3265-8710 <a href="http://www.captain.or.jp">http://www.captain.or.jp</a></p>	<p>一般社団法人 <b>海洋会</b></p> <p>会長 平塚 惣一</p> <p>〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 (海事センタービル6階)</p> <p>電話 (03) 3262-8632 FAX (03) 3262-6909</p>
 <p>一般社団法人 <b>日本船舶機関士協会</b></p> <p>会長 掛谷 茂</p> <p>〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地 (海事センタービル5階)</p> <p>電話 (03) 3264-2518 E-mail: me-honbu@marine-engineer.or.jp URL <a href="http://www.marine-engineer.or.jp">http://www.marine-engineer.or.jp</a></p>	<p><b>人と海に未来を</b></p> <p>公益社団法人 <b>日本海難防止協会</b></p> <p>会長 武藤 光一</p> <p>〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目1番3号 磯村ビル6階</p> <p>電話 (03) 3502-2231 <a href="http://www.nikkaibo.or.jp">http://www.nikkaibo.or.jp</a> E-mail: 2231jam.s@nikkaibo.or.jp</p>
 <p><b>日本海事新聞</b></p> <p><b>THE JAPAN MARITIME DAILY</b></p> <p>試読・購読のお申し込みは 電話 <b>03-3436-3223</b> まで</p> <p><a href="https://www.jmd.co.jp/">https://www.jmd.co.jp/</a></p>	<p><b>海上の友</b></p> <p>船員と船員家庭のタブロイド版新聞 毎月1日発行 年間購読料 本体価格(5,916円) + 税 送料別</p> <p>お申し込み お問い合わせ <b>(公財)日本海事広報協会</b></p> <p>〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6 電話 (03) 3552-5034 FAX (03) 3553-6580</p>
<p>船舶、船舶装備器具及び部品の販売、輸出。作業船の 賃貸船舶修理、検査工事の請負及びコンサルタント。</p> <p><b>K2 シップマネジメント株式会社</b></p> <p>〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-13-14 パークヴィア横浜・巻番館306</p> <p>電話 : 045-290-6082 FAX : 045-290-6916 E-mail : kani@ksh.biglobe.ne.jp</p>	<p>株式会社 <b>コトラシステム</b></p> <p>代表取締役 土屋 正徳</p> <p>〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-12-13 日本橋船佐ビル3階</p> <p>電話 (03) 3245-6975 FAX (03) 3245-6980 E-mail: cotrasystem@nifty.com</p>

**目 次**

表紙 … 静かなアドリア海を悠々と進む「AGORAⅢ」 アキタフーズ

巻頭言 ……………… 会長 酒 迎 和 成 …… 2

フィリピン練習船による商船系高専5校の乗船実習について… 専務理事 土 屋 正 徳 …… 5

MAAP 練習船 KGO 号による日本・フィリピン商船学生の合同実習について  
……………大島商船高等専門学校 商船学科長 千 葉 元 …… 11

青函連絡船“洞 爺 丸”二等航海士の回顧録 “憧れ畏れた海峡” (第1回)  
…………… 元 青函連絡船 船長 山 田 友 二 …… 15

『A号航海記 (第4回)』 ……………… 栗 阪 肇 …… 18

私のマラソン奮闘記 ……………… 鳥羽商船 N48 水 野 博 之 …… 26

**北から南から**

富山高等専門学校 ……………… 29

鳥羽商船高等専門学校 ……………… 34

広島商船高等専門学校 ……………… 38

大島商船高等専門学校 ……………… 43

弓削商船高等専門学校 ……………… 47

海技教育機構 ……………… 54

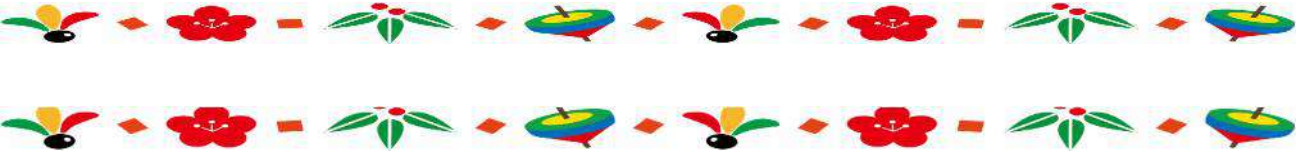
本部・支部だより ・お知らせコーナー ……………… 事務局 …… 55

役員候補者募集告示 ……………… 事務局 …… 57

賛助会員名簿 ……………… 事務局 …… 63

会費納入者御芳名 ……………… 事務局 …… 64

時事寸評 …… 表紙写真解説 …… 編集後記 ……………… 事務局 …… 66



## ◀ 巻 頭 言 ▶

### ～ 全船協創立 90 周年を迎えて、全船協の使命 ～

会 長 酒 迎 和 成



謹んで新春の祝詞を申し上げます。

世界の各地や海上において、また全国各地で昼夜を

問わず職務に精励

されている皆様には心から感謝と敬意を表したいと思えます。日本経済の生活インフラである海上輸送を守っている皆様のお蔭で全ての国民は安心して生活できていることを今一度、国民の一人として心に刻みたいと思えます。

令和 2 年の新しい時代が幕を開けました。皆様方それぞれが希望と期待に満ち溢れた時代でありますように祈られずにはられません。

ここ数年の異常気象による猛暑、豪雨災害は甚大であり、九州、西日本及び昨年台風 15 号及び 19 号の関東直撃による東日本の豪雨災害は多くの国民が今なお家族や家を失い悲嘆の中にあることを思うとき心が痛みます。災害列島といわれる日本は災害を教訓として多くの仲間たちとお互いに助け合って生きていく宿命かも知れません。まさか、この地だけは大丈夫ではなく、ハザードマップに目を凝らして、自分の命は自分で守る行動がいかに大切であるかを思い知らされました。

2020 年の国際情勢に目を向けますと、東アジア、南シナ海、中東のそれぞれの地域で一触即発、紛争の危機が連続して起こっています。世界の警察官であった米国が自国優先主義を打ち立ててその役割から手を引くとすぐさま他の勢力が伸長してきて地域の安定を損なう結果となっています。

我が国は世界の平和と安定の基に輸出入の貿易で生きているという現実です。中国、朝鮮半島、ロシアとの安定した関係を維持することがいかに重要であるかは自明の理であり、日本は米国との安全保障の枠組みの中でこそ国民の生活が保障されると考えます。

複雑な国際情勢の中で一番の関心事はエネルギーの殆どを輸入に頼る日本のオイルロードを確保することです。

日本のエネルギーの自給率は約 8%であり、原油や LNG は約 100%を輸入に頼っています。ペルシャ湾からホルムズ海峡、インド洋、マラッカ海峡、南シナ海、バシー海峡を経て日本まで約 6500 海里（約 12,000 キロ）を 30 万トンのオイルタンカーで約 20 日間を掛けて運んで来ています。紛争海域や狭隘で水深制限のある海峡等を船長以下乗組員は常に神経をすり減らしながら厳重な見張り当直を継続して運航しています。日本に到着すると数日の荷揚げ作業の後に再び灼熱のペルシャ湾に戻り、積荷役を終えて日本にユーターンする連続した 365 日の安全運航が我々国民のエネルギーを確保しているのです。日本の毎日の原油消費は 30 万トン



のタンカー2隻分です。オイルロードの重要性を今一度、国民の皆さんにアピールしたいと思っています。オイルロードは日本の生命線です。

2020年国内の最大のトピックスは何といっても東京オリンピックだと思います。前回の東京オリンピックは昭和39年・1964年の秋でした。もう56年前のことでしたが、一生に二度も日本開催のオリンピックを体験できることは幸せなことだと感慨もひとしおです。個人的には、この年に大島商船高校に入学した小生ですが、5校の同期の方々をはじめ多くの皆様も同じ感激を味わっていると思います。

海外からも多くのお客様が来日されると思いますが、一番の気掛かりは昨年夏の猛暑です。56年前の秋季開催とは違い真夏日の連続する厳しい環境が想定されますので、アスリートは勿論のこと、観客の皆さんも健康には十分に留意して頂きたいと思います。急遽マラソンコースが札幌に変更されるハプニングがありました。東京オリンピックが無事に開催されることを祈るばかりです。

さて、本協会は、令和2年・2020年4月11日に創立90周年を迎えます。

本協会の歩みを振り返りますと、昭和5年・1930年に初代帆船日本丸及び初代帆船海王丸の建造を機に地方商船学校11校の出身者により「全国商船学校じゅういちかい十一会」を結成しました。尚、11校の商船学校は昭和17年に7校に、昭和21年には5校となっています。

「全国商船学校じゅういちかい十一会」は、戦時中は休止の止む無きに至りましたが、昭和26年に再建、翌27年に社団法人となりました。昭和39年には大洋同志会と合併し、昭和44年・1969

年に学歴、免状の種類、職種を問わず、全船舶職員の組織として名称を社団法人全日本船舶職員協会と改称しました。そして平成24年に一般社団法人全日本船舶職員協会として今日に至っています。

昭和5年に創立されて以来、90年の長きに亘り、その時代のニーズに合わせて活動を継続して来た先輩諸氏の御苦勞に感謝しながら、海洋立国日本にとって全船協は何をなすべきでしょうか。

私は平成30年6月の総会で初めて全船協の理事となり、総会直後の臨時理事会で代表理事会長に就任致しました。全船協の会長に就任した動機は、平成25年に大島商船高専同窓会長に就任し、5校商船系高専商船学科の卒業生の就職状況を知りましたが、卒業生の海上就職は約6割であり、約4割が進学や陸上産業他への就職であったことです。この現状から5校商船学科定員を200名から120名への縮小プランが粛々と進められていることを知った時は愕然としました。外航船社が商船系高専から採用しないことが学校や学生の外航船社ばなれとなり、陸上産業や内航海運に就職しているのが現状でした。このままでは全国高専の高度化再編の再現の中で商船系高専存続の危機を感じました。この流れを阻止するには全船協という組織を最大限に活かす必要があると痛切に感じて全船協の代表理事に就任した次第です。海洋立国日本には、外航、内航を問わず、日本人船員が必要であることは、平成30年5月15日に閣議決定された第3期海洋基本計画にも規定されている通りであります。私は、海洋基本計画に沿った日本人船員の育成・確保の為の商船教育の振興に、全力を傾注するべきであると考えます。

会長に就任して商船系高専を管轄する文部科学省を訪問し、当時の林芳正文部科学大臣に面談しました。短時間ではありましたが、5校商船系高専の商船学科定員200名の維持、5校の校内練習船の代替新造の実現及び商船系高専への運営交付金の維持をお願いした次第です。

文部科学大臣への陳情の他に具体的な活動としましては、平成30年度は（独）海技教育機構の練習船の実習生から月額3万5千円、年間42万円の食料費等を徴収する事案に断固反対を決議し、衛藤征士郎先生、岸信夫先生に陳情して撤回することができました。

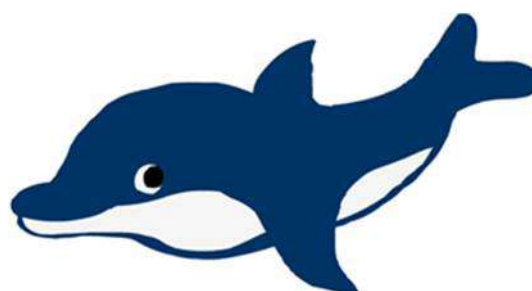
又、令和元年度は5校商船系高専の校内練習船代替新造計画の実現に向けて支援することを理事会で決議し、岸信夫先生、赤池誠章先生に陳情した結果、自民党文部科学部会高専小委員会における文部科学省への提言に「商船高専に不可欠な練習船について、技術の進展等を取り入れた教育の高度化に対応できる代船を建造すること」の文言を追記して頂きました。

9月中旬には衛藤征士郎先生、赤池誠章先生のご指導を受け、急遽全船協会長名で5校同窓会長、5校学校長に5校商船系高専練習船代替新造推進期成会を結成し、決起集会の開催を呼びかけました。10月には5校地元それぞれの練習船代替新造推進期成会が発足しました。そして11月6日決起集会に代え、自民党本部において自民党の海事立国推進議員連盟と高等専門学校小委員会が主催する「商船高専練習船更新と教育充実に向けての集会」が開催され、5校推進期成会の各代表から新造船建造を要望し、当集会の決議「最新鋭機器等の導入に

よる計画的な練習船の更新の実現」が採択されました。そして5校推進期成会代表が財務省宮島政務官及び文部科学省萩生田文部科学大臣に要望書を直接提出しました。

この度の自民党本部における集会での決議採択は、衛藤征士郎先生、河村健夫先生、岸信夫先生、坂本哲志先生、赤池誠章先生をはじめ多くの国会議員の先生方のご尽力の賜物と深く感謝しています。全船協は要望した5隻の練習船の代替新造が実現するまで常に進捗状況を注視し、5校練習船代替新造推進期成会と連携しながら、ロビー活動を継続したいと考えています。このようなロビー活動ができるのも「全国商船学校じゅういちかい十一会」から全日本船舶職員協会に至る90年の長きに亘り先輩諸氏の活動が海運業界の中で不動の地位を築いているがゆえであると感謝しています。

全船協の使命は、外航及び内航海運の安全運航を担う船舶職員・海技者の養成を支援することであり、日本人船舶職員が枯渇することのないように、商船教育の充実を目指し、海洋立国日本の為に行動することであると考えます。全船協は、会員の福利厚生と親睦に努め、組織運営の安定を図りつつ、使命を全うすべく日々精進して参りますので会員の皆様方の絶大なるご支援を賜りたくお願い申し上げます。



# フィリピン練習船による商船系高専 5 校の 乗船実習について

専務理事 土屋 正 徳

2019年9月5日から9日まで商船系高専5校の商船学科の学生29名とフィリピンのアジア太平洋海事大学（Maritime Academy of Asia and the Pacific : MAAP）の学生49名との合同練習航海を行った。

フィリピン練習船 M/V Kapitan Gregorio Oca（カピタン グレゴリオ オカ号：以下 KGO 号と表示）は、レジエーガリト船長以下19名の乗組員と10名の教官、49名の学生とともに、広島港（宇品）へ2019年9月4日、初入港した。



M/V Kapitan Gregorio Oca (Delivery : 25<sup>th</sup> December 2018 at Miho Shipyard JPN) Length over all : 78.60m  
Breath Molded : 12.00m Draft Molded : 4.99m  
Gross Tonnage 2,980 tons

9月5日には富山高専4名、鳥羽商船高専3名、弓削商船高専9名、広島商船高専3名、大島商船高専10名が本船へ乗船した。

乗船後には、“STU48”号で行われた歓迎式典に参加した。

”STU48”は国土交通省が立ち上げた「C to Sea プロジェクト」のアンバサダーを務めている。

広島県からは田邊副知事、全日本海員組合より森田組合長、国土交通省大臣官房磯野審議官、国際船員労務協会の赤峯会長（主催者）が挨拶された。

アジア太平洋海事大学（MAAP）と商船系高専5校の学生が映像を使って、それぞれの

学校の紹介を行なった。

続いて STU48 のメンバーの内、代表6名が登壇、両校の学生を交えて意見交換を実施、フィリピンの学生は流暢な英語でスピーチ、同時通訳者が STU48 と商船系高専の学生に通訳していた。

アイドル6名は「何故船員を目指したのか?」、「船員の魅力は?」などと次々に質問、学生達からは忌憚りの無い回答があり、会場内が爆笑する一幕もあった。アイドル6名は懇親を深めながら学生達へエールを送った。



“STU48”と歓迎式典



STU48号



続いて劇場船“STU 48”号を舞台にライブ活動している STU48 が歌とダンスによる歓迎ライブが挙行され会場内は大いに盛り上がり、合同実習はスタートした。



STU48



劇場で熱唱する“STU48”



MAAP



商船学科

乗船式、歓迎式典も終了、9月6日の出港予定で準備していたが台風15号の影響で出港がやや遅れ、午後には広島港を出港、一路名古屋港へ向けて練習航海の途についた。

瀬戸内海を航行中は穏やかで揺れも小さく済んでいたが紀伊水道辺りから台風の影響でうねりが大きく、本船は相当な揺れに遭遇、何名かの実習生は“船酔い”の洗礼を受けた。

船内では各居室にフィリピン学生と商船学科学生との相部屋で構成され、会話は総て英語となり、商船学科の学生達は慣れない英語に奮闘、何とか意思疎通ができたようである。

航海中は航海当直、機関当直などをこなし、本船教官の作成したカリキュラムに沿った実習が行なわれ、9月9日、無事、名古屋港へ入港した、

当日の午後は解散式を行い、フィリピン学生達と別れを惜しむシーンが見られた。

以下、体験談の寄稿より抜粋して掲載する。  
(多数の寄稿、この場を借りて御礼申し上げます)



**【体験談】** “フィリピン人学生との合同乗船実習を終えて” 富山高等専門学校 商船学科 4年 開米 俊介(寄稿)

私が MAAP の学生との乗船実習に参加した動機は3つ、あります。

1つ目は私の英語力を試すためです。3月に学校の留学プログラムでハワイ短期留学を経験し、さらに英語力を伸ばす必要性を感じていました。

2つ目はフィリピン人と接触してみたかったからです。これまでの人生の中でフィリピン人と接する機会は無かったため、人柄や習慣に興味がありました。

3つ目は将来外航船員になりたいからです。

外航船では同乗する外国船員の多くがフィリピン人のため、今のうちにフィリピン人とのコミュニケーションを取ることで、今回の経験が将来必ず生きてくると考え参加を決意しました。

船内居室は8人部屋で、日本人2名、フィリピン人6名で、最初はとても気まずいと思いました。しかし、フィリピンの学生はフレンドリーで、御菓子をくれたり、私の片言の英語でも丁寧に聞いてくれたお陰で打ち解けることができました。

食事はスプーンとフォークで食べたのですが、最初は不慣れで上手く食べられませんでした。また、料理の調味料の臭いにも慣れず、食べるのに少し苦労しました。

機関室や教室にウォーターサーバーがあり、日本の練習船に比べると生活面ではシッカリしていると感じました。

機関室の当直では、初めての深夜当直を経験しました。1回目の深夜当直は寝不足だったこともあり船酔いをしてしまいました。でも、これも良い経験だと思います。

その後の当直は船酔いをしなかったため、十分な睡眠で船酔いを防げると感じました。

機関室の仕事は、引継ぎをして、オイルタンク、空調設備、冷蔵庫などの計測を行ないました。冷蔵庫の計測は船首で行なうため、そこまで行くのに移動が多く、また船首なので、ものすごく揺れがありました。計測を終えた後の自由時間にはフィリピン人学生と映画を見たり、雑談をしたりしました。

これからはフィリピン人船員が上司になる時代と言われていますが、日本の船員に比べ指示を受けてから行動する傾向を感じました。

フィリピン人船員が外航船で部下を纏める立場を務めるためには自主的に行動できる必要があると感じました。

一方でフィリピン人はメンタルが強いと感じることが多々ありましたが、何より船内生活を楽しむために、どの人にも優しく接していたのが印象的でした。

私は、この実習を経験して10月から始まる長期実習の予行練習になったと思います。

短期実習の復習をしながら英語を実際に使うことができました。

今回の合同乗船実習を通して改めて外航船員になりたい思いが強くなりました。一時は外航船員を諦めていた時期もありましたが今後はシッカリと勉強し、外航船員に相応しい人間になれるように努力したいと思います。

最後になりましたが、全日本船舶職員協会および国際船員労務協会の皆様、台風の影響により日程のことで多くの御苦勞をお掛けしたと思いますが無事に実習を終えられるよう御尽力戴き、心より感謝を申し上げます。

※ 以下、乗船実習生のアンケート調査の結果を添付する。

2019MAAP練習船合同実習に関するアンケート  
(高等専門学校)

質問に対して1～5の番号に○をつけてください。

1 全くその通りでない 2 その通りでない 3 どちらとも言いにくい 4 その通り 5 全くその通り

ハブについて (ハブについて質問してください)

問 実際の授業に満足されましたか?

問1.1 英語の会話内容は理解できましたか? 1 2 3 4 5

問1.2 英語が聞き取れましたか? 1 2 3 4 5

問1.3 ハブについて満足して授業が受けましたか? 1 2 3 4 5

問1.4 ハブについて好きな授業 (個人的に) が受けましたか? 1 2 3 4 5

問1.5 どのような授業が受けましたか? (複数回答可)

1. 講義 2. 実習 3. 実習 4. 講義 5. 実習 6. その他

問1.6 どのような授業が受けましたか? (複数回答可)

1. 講義 2. 実習 3. 実習 4. 講義 5. 実習 6. その他

講義 (Lecture, Self-study, Reading assignment) について

問2.1 授業の進み具合は理解できましたか? 1 2 3 4 5

問2.2 授業の進み具合は満足できましたか? 1 2 3 4 5

問2.3 授業の進み具合は満足できましたか? 1 2 3 4 5

講義 (Lecture) について

問3.1 フォロワーの (英語) に対する理解が深まりましたか? 1 2 3 4 5

問3.2 同僚とのコミュニケーションが深まりましたか? 1 2 3 4 5

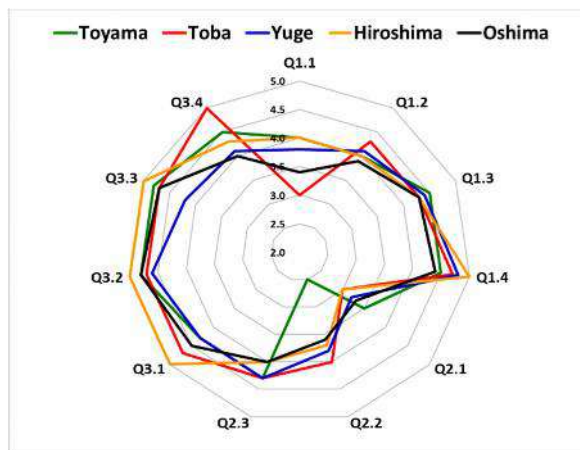
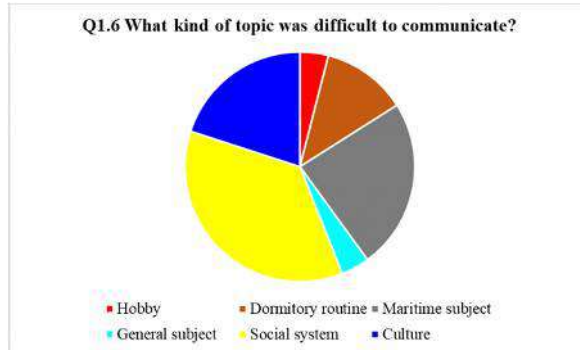
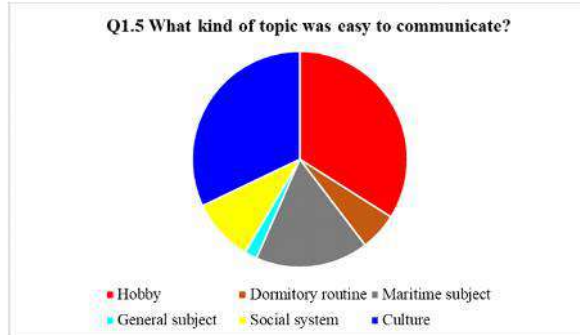
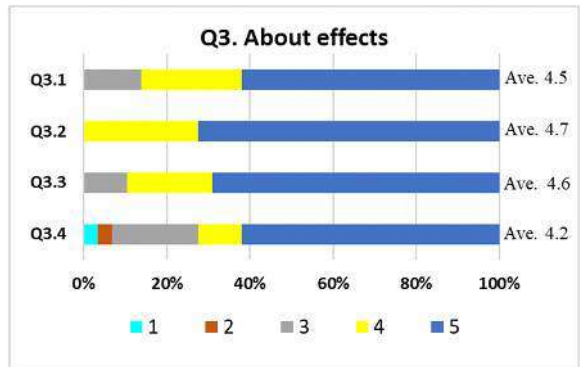
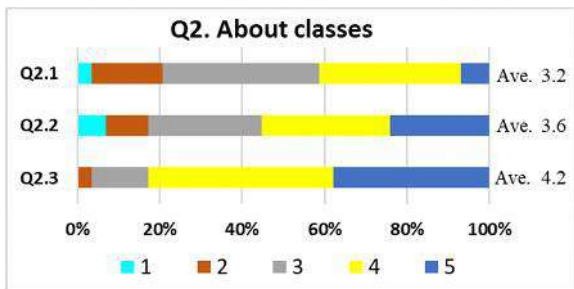
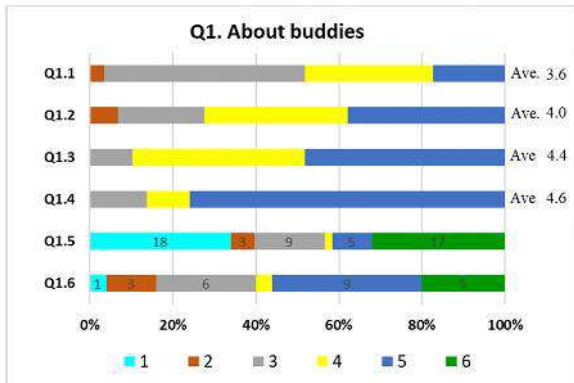
問3.3 海外実習の意義が深まりましたか? 1 2 3 4 5

問3.4 授業を通して、外国語に自信が深まりましたか? 1 2 3 4 5

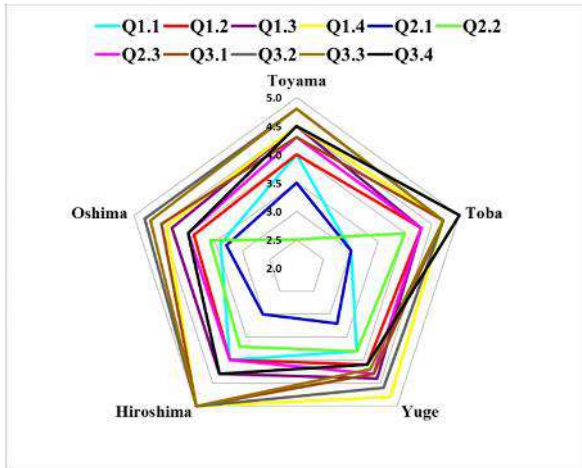
今後の授業に活用いたします。  
ご意見があればご返信いたします。

アンケート用紙 (商船学科用)

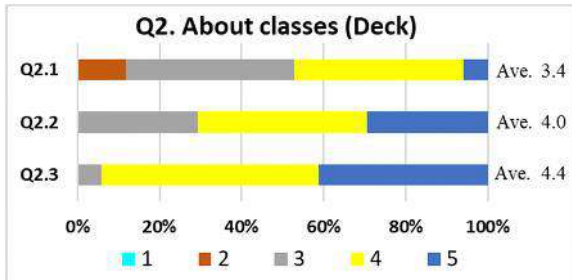
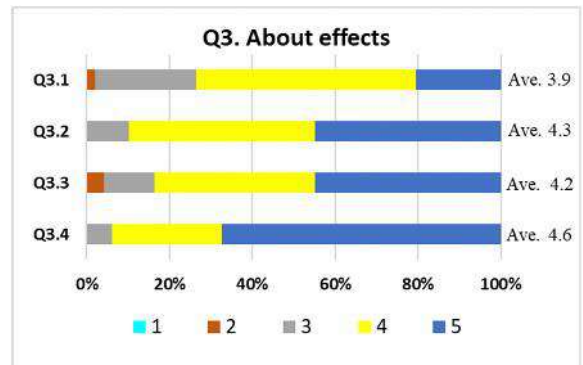
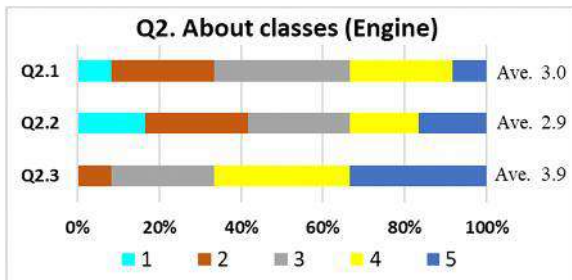
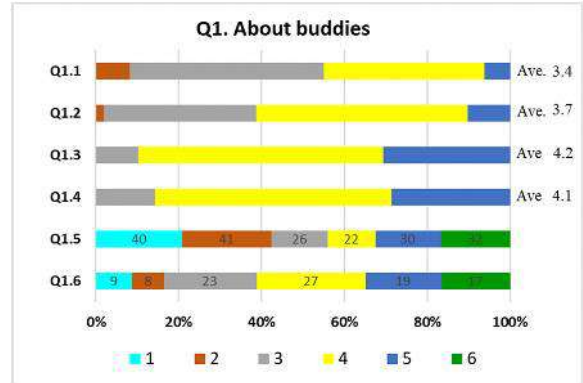
合同実習アンケート集計結果 (商船学科)



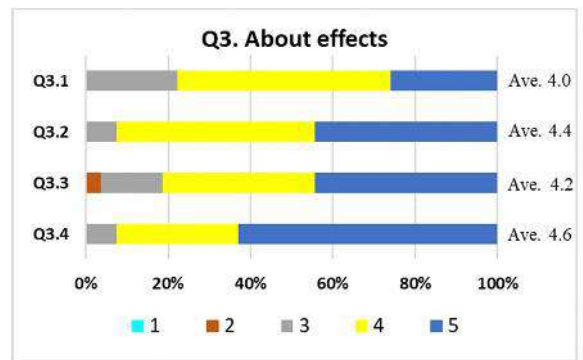
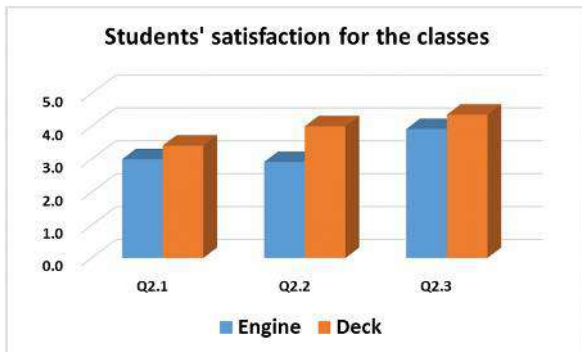
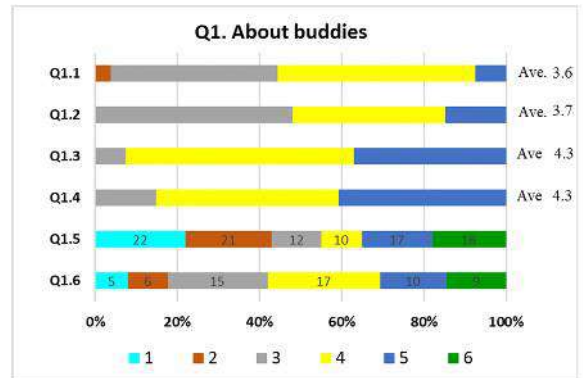
合同実習アンケート集計結果(MAAP)



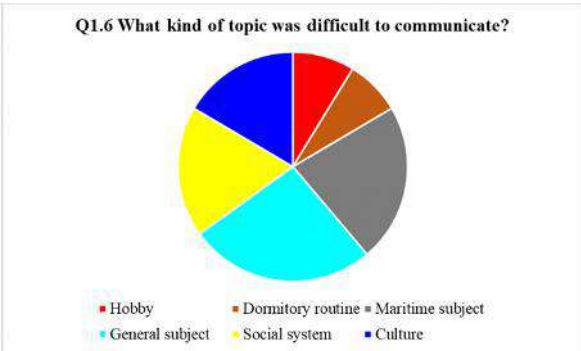
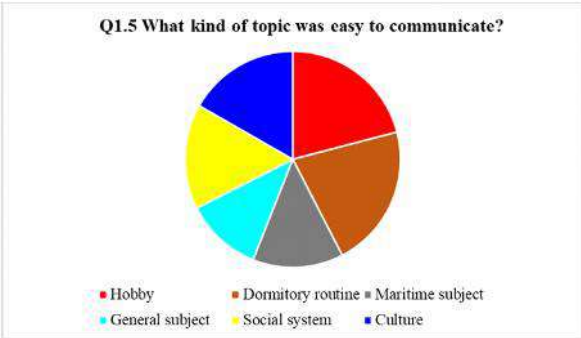
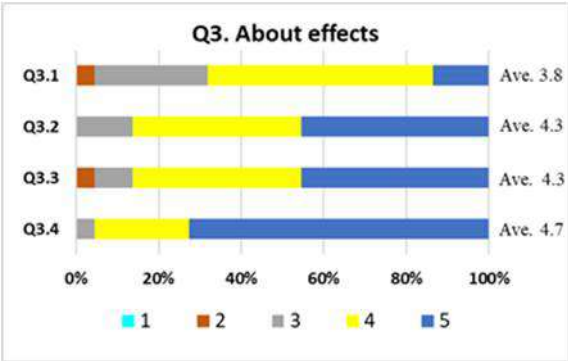
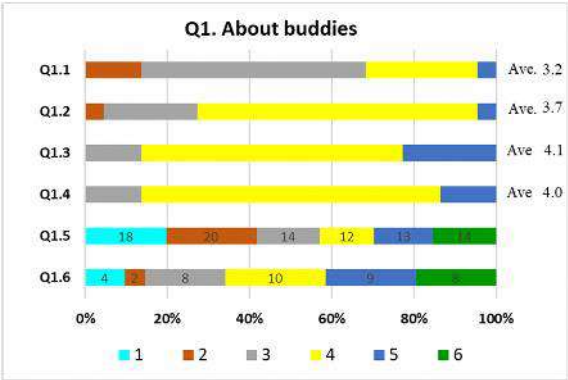
Total results



Results (Engine)



Results (Deck)





## MAAP 練習船 KGO 号による日本・フィリピン商船学生の 合同実習について 大島商船高等専門学校 商船学科長 千葉 元

フィリピン国 AMOSUP (Associated Marine Officers and Seamen's Union of the Philippines : AMOSUP) が運営する民営商船大「アジア太平洋海事大学 (MAAP)」の日本商船隊 Cadet 向けの新練習船「KAPITAN GREGORIO OCA : KGO」(全長 78.6m, 総トン数 2,098 トン) で、日比商船学生の混乗による乗船訓練が、2019 年 9 月 5～9 日に実施された。

この取り組みは、国際船員労務協会が主催し、全日本船舶職員協会が共催し、全日本海員組合、日本船主協会、MAAP が後援として実施された。そして、日本からの参加学生は、鳥羽、富山、広島、大島、弓削の商船系高専の商船学科学生を募って行われた。このため、2019 年の 3 月頃より、全船協本部の皆様と、各校の校長及び商船学科長と多くの連絡と調整を取らせて頂き、今回のイベントが無事に実施するに至った。

まず、日本の商船高専学生の乗船日となる 9 月 5 日には、KGO 号が着岸していた広島港宇品外貿易埠頭にて、KGO 号の広島港初寄港歓迎式典が開催された。ここで、KGO 号の歓迎のために、STU48 号が KGO 号と並んで着岸し、STU48 のメンバー 6 名が参加して、STU48 号を会場とした歓迎式典が開催された。式典では、主催者、来賓の皆様のご挨拶の後、MAAP 学生、商船高専学生による学校紹介が行われた(写真 1)。その後、MAAP 学生、商船高専学生、STU48 と、同世代の若者同士の、海や船に対する今の思いや夢を語る対談が行われた(写真 2)。その後、STU48 のミニコンサート、MAAP の Santos 校長様



写真 1 歓迎式典での 5 校代表学生



写真 2 歓迎式典での商船高専学生, STU48, MAAP 学生

のご挨拶が行われた。

今回は、日本の商船高専学生は、5 校の商船学科より 28 名が参加した。また、引率として 5 名の商船学科教員が乗船した。KGO 号の比実習生は 50 名であり、居住部屋も活動班も、日比混乗という形式をとった。

この日は、全体の新乗船者教育が行われ、その後、学生同士で、船内生活の詳細のレクチャーが行われていた。商船高専学生は慣れない英語に苦勞しながらも、比国学生の明るい性格もあり、徐々に楽しく船内生活に溶け込んでいるようであった。

9 月 6 日には、0800-1000 に日本船主協会様より、「日本海運の現状について」の講演が

あり、これまでの日比の混乗船の在り方や、これからの展望についての講義が行われた。その後の学生からの質問コーナーは、日本語と英語が混在した形で行われ、学生にとって、混乗船の実情を知る良い機会になったと思える。この後、商船高専学生と MAAP 学生の合同で、呉（大和ミュージアム）、宮島のバス見学を行った。比国学生は、大和ミュージアムでは展示物を熱心に見て、また宮島では散策や買い物を楽しんでいた。

当初のスケジュールでは、9月7日の朝に広島を出港をし、瀬戸内海を東行して、9月8日の夕刻に名古屋港外に投錨泊、9月9日の朝に名古屋港着岸の予定であったが、9月8～9日に東海から関東地方に多大な影響をもたらすことが予想された台風15号の進路を避けるために、航路変更を余儀なくされた。検討の結果、台風の東海地方への影響が8日までとの予報が出たので、広島港を西行し、豊後水道から四国の南方を航行し、9日の早朝に伊良湖水道に入り、1000に名古屋港ガーデンふ頭に着岸する計画とした。

この急な計画変更にとまどう学生もいたが、こうした時に最善な対処方法を見出していくのが、船乗りの重要な素養であることを、身に持って理解してもらえたと思う。

7日の出港は1600となったため、午前と午後には、操練や教室での講義が、日比合同で行われた（写真3,4）。

写真4は、MAAP 教官（航海士）による、航海系学生に対する、国際VHFによる船上通信の行い方についての講義であった。クイズを交えながらの、ジェスチャーを重視しながらの講義であり、商船高専学生も無理なく授業についていくことができ、理解を深めていったと思える。

1600に内海Pilotの嚮導で広島港を出港し、豊後水道の関崎を目指した。これより、船橋、機関室共に日比学生合同による当直が



写真3 操練後の教室での講評



写真4 航海系学生への教室での船上通信の講義

開始された。写真5は船橋当直の様子を示す。海図の周りに学生が集まり、英語により、日比学生が協力して、航路や現在位置の確認を共に行っていた。



写真5 船橋当直での海図による航路確認

他、レーダー監視、見張りも、MAAP 教官の英語の指導のもと、各所で日比学生が協力を



して行っていた。多くの学生が、現場の英語というものが、実際の物を見ながらなので話がしやすく、またしゃべろうとする意欲が大事であることを理解してもらえたかと思う。



写真6 機関制御室におけるミーティング



写真7 日比学生ペアによる主機状況計測

写真6には機関制御室でのミーティング、写真7は日比学生ペアでの、主機の状態計測の様子を示す。こうした作業を通じて、日比学生が親近感を深めていったものと思える。



写真8 休憩時間に談笑する日比学生

写真8は、こうした航海中での休憩時間の様子であるが、非常に打ち解けた雰囲気になってきているのが分かる。

7日の2330に関崎にて内海 Pilot が下船し、太平洋に出た。これより、四国の南を東行していくが、段々と台風の影響によるうねりが強くなってきた。8日の日中は快晴であり、うねりもさほどにきつくはなく、学生達も順調に船橋、機関室当直をこなしていった。しかし、夕刻に友ヶ島水道から紀伊半島の南方を航行する際には、かなりのうねりにより動揺がきつくなったが、大方の学生は元気に当直をこなしていた。日比学生共に、船乗りになる気構えが強いことが感じられた。

9日の朝に伊勢湾入り口に近づいた時にはうねりもおさまり、0630に伊勢湾 Pilot が乗船して伊良湖水道に入った。こうした、内海 Pilot、伊勢湾 Pilot の嚮導を間近に見れたのは、日比学生にとって、非常に良い経験になったと思う。そして、1100に名古屋港ガーデンふ頭に着岸した。この着岸の係留作業も日比合同の学生作業で行った(写真9)。そして、入港部署開けの後、日本人学生は下船準備を行い、比学生と昼食をとり、日比学生全員への、国際船員労務協会からの実習のまとめのご挨拶、KGO 号の Belibor 船長からのご挨拶により、当実習を締めくくって頂いた。



写真9 名古屋入港時に日比合同による船首配置



写真 10 下船時の総員での記念撮影

商船高専学生が 1300 に下船となり、総員での記念撮影を行った（写真 10）。しかし、学生同士はなかなか別れがたく、各所で班同士や相部屋同士での記念撮影を行っていた（写真 11）。こうした様子から、この 5 日間の実習が、双方にとって非常に有意義であったことが分かる。いつか、彼らが、どこかの外航船で出会い、再びに理解と親交を深め、日本商船隊の発展と安全運航につとめてもらうのを願うばかりである。



写真 11 各班や部屋での記念撮影が各所で途切れず



写真 11 各班や部屋での記念撮影が各所で途切れず





## 青函連絡船“洞 爺 丸”二等航海士の回顧録（第1回）

### “憧れ畏れた海峡”

元 青函連絡船 船長 山田 友二さん

著者略歴

やまだ ともじ

1925年（大正14年）、茂寄村（現 十勝管内大樹町）生まれ

富山商船学校航海科（富山県）を卒業し、1944年に青函連絡船の船員となる。

1954年の洞爺丸台風事故の際は二等航海士として「洞爺丸」に乗り込み、生還した。

1971年～81年に青函連絡船「摩周丸」などの船長を務めた。

函館市在住 93歳（2019年2月4日）

北海道新聞抜粋記事

#### 懸命にもがき九死に一生 ①

何度も何度も波頭に巻き込まれ、海深く追いやられました。

海水を“がぼ がぼ”飲み、苦しくて、苦しくて……。

ふと、1歳4ヶ月の長女の顔が目には浮かびました。「ここで死んでなるものか」。

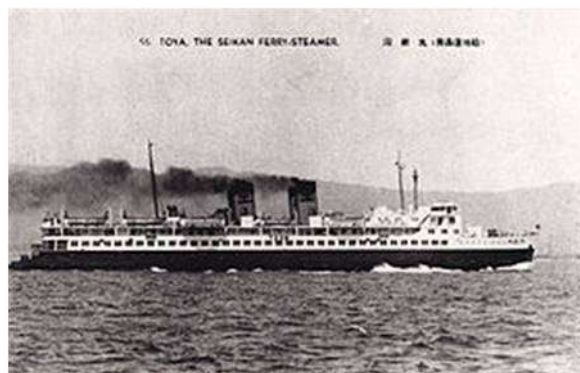
必死にもがいて陸を目指しました。函館湾の海水は痛いほど冷たかったです。

1954年9月26日夕、函館に到来した台風15号。後に「洞爺丸台風」と呼ばれる暴風雨は、函館港付近で青函連絡船5隻を沈没させ、死者・行方不明者 計1430人の未曾有の被害をもたらしました。

生存者は202人。このうち船員は81人で、私が最も高い役職でした。

私は当時29歳。5隻のうち「洞爺丸」に二等航海士として乗り込み、船長、一等航海士と共に操船を担っていました。

函館～青森港間 113キロの定期航路は1873年（明治6年）に開拓便を開設したのが始まりです。



洞 爺 丸

日本郵船による運航があり、1908年（明治41年）に国が青函連絡船二隻で運航を始めました。

函館港にある函館市青函連絡船記念館摩周丸に残る資料によると1954年当時は14隻で一日14往復。この頃は一年で200万人超、物資300万～400万トンを運んでいました。

戦後の混乱期を抜け、人と物の運搬は増加傾向をたどっていました。

あの日午後、函館港は強風が吹き、乗客1151人を乗せた洞爺丸も午後2時40分の定刻の出港を見合わせていました。

午後5時頃、雨交じりの曇天が晴れて、西側に青空が見えました。近藤平市船長は、台風の勢力が弱まったと解釈したとみられ、午後6時39分、出港しました。

しかし、防波堤を過ぎて波風は強さを増しました。風速50M超、高さ8Mを越す波が洞爺丸を襲います。錨を入れますが、船体は海に浮かぶ木の葉のように、縦に横に振り回されました。錨を引きずり、じわじわと陸地に近づいていきます。走錨(そうびょう)と云う状態です。

私は操船作業を行なうブリッジ(船橋)に近藤船長、水野円吉一等航海士ら8人といて、レーダーをにらんでいました。防波堤の端にある灯台の方向や距離を確認し、船の現在位置を逐一、船長に報告しました。

午後10時過ぎ、船尾の底から突き上げるような衝撃を感じました。上磯町(現 北斗市)の七重浜から700M沖の砂地に座礁したのです。台風の猛威はさらに船を襲いました。波風が船体の真横に当たり、揺さぶります。洞爺丸に「沈め 沈め」と吹きかけているようでした。

洞爺丸は傾き、船内は水浸しとなり、やがて転覆。乗客は船内に閉じ込められたり、海に投げ出されたりしました。

気が付くと、私は真っ暗な砂浜に一人で立ちつくしていました。あれから65年の歳月がたちました。覚えている限り、私の半生を振り返りたいと思います。

## 船乗りの夢 商船学校 半年は軍事訓練 ②

1925年(大正14年)、十勝地方の南端に位置する茂寄村(現 大樹町)で、7人兄弟の次男として生まれた。祖父は滋賀県からの入植者。父は荒物雑貨店を営み、米、みそ、しょうゆ、酒、果物などを売っていました。

店に菓子がいっぱいあり、キャラメルやチ

ョコレートなどをよくつまみ食いしていました。両親に怒られた記憶はなく、おおらかな家庭でした。父と川でヤマベ釣りをしたり、友達とスキーをしたりと、外で遊ぶのが好きでした。

船乗りへの憧れが芽生えたのは大樹尋常小学校時代。家にあった国内外の立派な商船・客船が載っている本を見たのがきっかけです。

一方で、1931年(昭和6年)に満州事変が起きるなど、時代は戦争に向かって突き進んでいました。朝登校すると、児童全員が校庭に出て、東京のある南を向いて最敬礼し、教育勅語を唱えます。将来の夢を「陸軍大将」「海軍大将」と云う子供が周りにはかなりいました。

卒業を翌年に控え、「富山商船学校」(富山県)の生徒募集書類を学校で目にしました。

「大きな船に乗れたら面白いな」と家族に相談しました。母は「あまり良い職業ではないよ」と反対しました。当時船乗りはつらい仕事の割りに実入りが良くないと考えられていたからです。ですが父は「お前が乗ってみたいならいいじゃないか」と賛成してくれました。

1940年春に入学。翌年には大東亜戦争が始まります。入学式の後、「命課告達式」という式が行なわれました。京都・舞鶴の海軍鎮守府から司令長官ら偉い人が来て、生徒に「海軍予備練習生に命ず」と告げ、大日本帝国海軍の兵隊番号を付けました。生徒は学校に籍を置いたまま、海軍軍人になったのです。

3年間座学で学んだ後、横須賀第一海兵団に入隊。全国の商船学校から集まった何百人もの生徒と6ヶ月間の軍事訓練を受けました。銃剣術、射撃、陸戦……。きつくて、上官にも殴られて、つらい思い出です。

潜水艦を攻撃する駆潜艇という小型の船に乗り、東京湾で爆雷を投下したこともあり

ました。爆雷は、石油が入っているドラム缶。沈んでいって、一定の水深で爆発し、水柱が20m～30mも上がります。もう戦争が始まっていたから、実際の兵器を使った訓練を、まだ18歳の若者たちがやっていたんです。

戦争に行くことが当然という教育を受けたので、怖さはあまり感じませんでした、進んで戦いたいわけでもありません。

訓練を終えて乗船実習のため商船学校に戻る際、歳の近い兵隊たちから「お前たちはいいな。しゃばに帰れるぞ」なんて軽口をたたかれ、「こんなところ、もう絶対来ないから！」と言い返しました。こんなこと冗談でも上官には言えません。憲兵にしょっぴかれますからね。

### 米軍の空襲 沈没や損傷 壊滅的な被害 ③

横須賀第一海兵団で軍事教練を受けた後、瀬戸内海で練習船に乗り、さらに6ヶ月間の操船訓練です。

卒業生の勤務先については、学校は日本郵船や日本海汽船など国策系や大手の会社へ割り振ります。私は「青函連絡船みたいな大きな船に乗ればいいな」という思いがあり、学校に希望を伝えていました。

そして念願がかない1944年(昭和19年)4月、国策で運航されていた青函連絡船への勤務が命じられました。配属は「飛鷹丸(ひらんまる)」の三等航海士。まだ19歳という若さでした。

船には船長のほか、一～三等航海士がそれぞれ1人ずつ乗り込みます。船長が出入港を、そして防波堤を越えた先の航海を3人の航海士が交代で担当します。若くても航海当直に当るのは1人。「自分が全責任をもって船を走らせるんだ」と誇らしい気持ちでブリッジに立ちました。

9ヵ月後には「第八青函丸」の二等航海士

に任命されました。この昇級は、今考えると異例な早さです。戦時中で航海士が足りず、みんなどんどん役職が上がっていきました。私が特別優秀だったわけではありませんよ。

第八青函丸は、貨物船です。この頃、浮遊機雷を避けるために、夜間運航を休止し、連絡船は貨物輸送が大半でした。「青函丸」の名称が付く船はみな貨物船でした。

日本の商船教育はイギリスから習ったものなので、敵性語の使用が禁止された戦時中でも、連絡船では職名や号令に英語を用いました。船長は「キャプテン」、一等航海士は「チーフオフィサー」などと呼び合い、微速前進は「スローアヘッド」、面舵は「スターボード」などと船長は号令を飛ばします。

終戦一ヶ月前の1945年7月14日と15日、飛鷹丸をはじめ、連絡船10隻が米軍の空襲を受けて沈没したり、座礁しました。

貨物船2隻も激しく損傷し、12隻あった連絡船は壊滅的な被害を受けました。

私はこの三ヶ月前から国鉄の陸上関係の業務を行う函館管理部に就いており、難を逃れました。連絡船が空襲を受ける様子は見えていませんが七重浜(現 北斗市)に流れ着き、三昼夜ぼうぼうと燃える「松前丸」の姿は、今でも目に焼きついています。

同期入社の山口恒久(つねひさ)君は「第二青函丸」の三等航海士として乗り込んだところ、機銃掃射を受け、背中に傷を負いました。

「津軽丸」の一等航海士、出村佐衛次さんは命を落としました。出村さんは同じ富山商船学校出身の大先輩で「お前が富山の学校から来た山田だな」と非常にかわいがってくれた人でした。他にも多くの仲間を失い無念でした。

(以下次号に続く)

# A号航海記（第4回）

内海水先区水先人 会員 栗 阪 肇

## 著者略歴

1997年9月 神戸商船大学乗船実習科修了

2017年2月 内海水先区水先人会入会

航海士として陸上勤務（2回）、VLCC、LNG船、自動車船、コンテナ船、チップ船、鉱炭船と16隻。  
船長として石炭船、ばら積船（ハンディサイズ、パナマックス）と4隻に勤務。

「水先修業生について」会報137号2018年5月春季号

「特別授業について」会報138号2018年8月夏季号

前回まで：

一等航海士として、仕事に対する自信を無くしかけていた。乗船のため、どん底の状態で英国 Southampton へ向かったが、そこで待っていたのはチップ船A号であった。A号と航海を続けていると、少しずつではあるが心の傷が癒えていった。

A号航跡は、139～141号をご参照下さい。

## 2-35) Cadiz

6月5日1815時(日本時間6日0115時)、大西洋を南から Cadiz に近づくと、Cadiz まで 21 海里 (約 40km) のところで右前に白い建物群を発見しました。左前方には1月31日から2月4日まで寄港していた Huelva があります。その方向の上空には大きな入道雲が1つ浮かんでいました。入道雲は、何となくコロンブスの顔に似ていました。さらに近づいていくと、Cadiz の東奥に控えているヨーロッパ大陸にはたくさんの風車があることに気づきました。スペイン領カナリア諸島もそうですが、沿岸には風力発電用の風車を多数目にすることができます。

その日は Cadiz 沖の錨地で仮泊をし、翌日の早朝岸壁に移動しました。Cadiz も他の都市と同じで、夜間の照明色を規制しているのか、黄色一色でとても綺麗でした。Cadiz の人口は 136,236 人(2001)。資料には founded by the Phoenicians about 1100 BC とあり

ますので、この辺りで最も古い街となります。

翌朝、建設中の港を横切る橋の下をくぐると本船の着岸する岸壁 Muelle La Cabezuela が待っていました。

着岸後に夜が明けると、Cadiz の建物は白一色ではないことが判明しました。Cadiz は Free Port (自由港、無関税港) です。豪華客船が頻繁に立ち寄っていましたので、上陸することにしました。岸壁から最寄りの村 Rio San Pedro まで南東方向に歩くこと 30 分。

この村には住宅地と学校、砂浜がありました。河口にあたるのか松林がありました。学校にはサーカーコートではなくて、バスケットコートがあったのが印象的でした。

通りの両脇の集合住宅は 3 階建ての白色で統一されていました。1階は半地下で、地下は駐車場となっていました。岸壁から村までの途中、柳のような木も見かけました。河口と村との間は、自然保護区になっているところが多く、柵で覆われていました。村には



バス停がありました。ちょうど Cadiz 病院行きのバスが到着しました。バスは満員でした。



### Cadiz 街並み

Cadizは河口の先端にある南北に突き出た半島の北端の要塞になります。海図では、要塞のところどころに昔の城がありました。もともとは Cadiz の北側が歴史ある街と要塞で、半分から南は最近にぎやかになったそうです。Rio San Pedro 村からは Cadiz には橋が架かっていました。合計で3車線なのですが、片側1車線で真ん中は開いていました。多分、緊急車両のみ通ることができるのでしょう。村から Cadiz のちょうど真ん中にある病院まではバスで30分でした。

Cadiz のどの建物も、同じ高さでした。Cadiz から私が渡った橋ではなくて、南を大きく迂回する陸伝いには鉄道も走っていました。首都マドリードまで鉄道では4時間。車で高速道路を飛ばせば6時間で到着できるそうです。街のどこからでも海を目にすることができました。通りには椰子の木が並んでいました。当日は風が強かったので、海岸で遊んでいる人を見かけることはできませんでした。

徒歩でも1日あれば Cadiz の街全体を観光できると思います。日没は2140時なので、人々は太陽の光を楽しんでいるようでした。Cadiz でも日本車を見かけました。Nissan マーチに似ていましたが、名前は Nissan Micra でした。



Cadiz 通り



Cadiz 砂浜



Cadiz 記念碑

騎馬にまたがるスペイン人英雄の銅像がありました。Jesus De La Paz の角でした。

帰路も同じルートを通りました。Rio San Pedro 村から船への道中に Pub があり、喉が渴いていたので立ち寄りました。店内には1700年から1800年代まで Cadiz で捕獲された魚介類の図がありました。



**Cadiz 建築**

当時はこの辺りにも「しゃこ」がいたことが分かり驚きました。スペイン語で詳しくは分かりませんが、近くにある水族館 **Medio Ambiente** に行けば詳細が分かるようです。ビール **Alhambra CERVEZAS** を 2 杯飲んで船に帰りました。

翌 7 日には **Cadiz** を後にし、東へ進んでジブラルタル海峡を目指しました。

## 2-36) Tarragona

バルセロナから西へ 50km に位置する **Tarragona** へは 6 月 9 日から 11 日まで寄港しました。**Tarragona** の人口は 117,184 人 (2001)。ワイン、オリーブ油、ドライ・フルーツ、石炭、穀物、自動車などの輸出港として有名です。

本船が着岸していた **Muelle de Argon** から北へ 15 分歩くと四差路があり、そのすぐ北には工事中的踏み切りがありました。踏み切りをくぐると小さい遊具のある広場 (公園) がありました。小さい子供たちが遊具 (滑り



**四差路と踏切**



**ONIO 通り**

台、ジャングルジム、ぶらんこ) で遊んでいました。子供の近くで若いお母さんたちが話しをしながら見守っていました。(子供とお母さんたちには国境はないようですね。)

広場のすぐ北には三叉路があり、その三叉路を北へ丘を登るように **ONIO 通り** を進みました。(細い片側 1 車線ですが、大型の路線バスが走っていました。) **ONIO 通り** の両側には果物屋、本屋、**Bar**、ブティック、教会、集合住宅が並んでいました。20 分ほど登





**RAMBLA NOVA 通り**

ると大通り RAMBLA NOVA に出ました。大通りは東西に走っていました。大通りの中央は歩行者天国で、その両脇を片側 1 車線の道路がありました。

スペインは夏時間で、当日の気温は 21 度でとても過ごしやすい夕べでした。日没が 22 時ごろなので人々は仕事終わりから日没までの間通りを歩いたり、家族で野外で食事をしたり楽しんでいました。Cadiz もそうですが、街角の至るところで「ONCE」と書いたブースがありました。多分、宝くじを販売しているのだと思います。

ここから首都マドリードへは、鉄道で 3 時間半、高速道路を飛ばすと 5 時間だそうです。ビールを楽しめる PUB は 300 件ほど街中にあるそうです。街角の本屋で購入した地元紙 LA GACETA も英国紙 THE TIMES も、天気欄にはヨーロッパ大陸全体が載っていた

のが印象的でした。今でこそヨーロッパはいくつかの国に分かれています、かつては同じローマ帝国で、言葉（ラテン語）も共通だったので、ヨーロッパ内はお互いに近所の庭みたいななのでしょうね。

大通り RAMBLA NOVA を西へ 20 分ほど歩くと、大きなロータリー PLACA IMPERIAL TARRACO にあたりました。通りにはマクドナルド、車のディーラー、喫茶店などのテナントが並んでいました。一方、大通りを逆に東に進むと東端は三叉路になっていました。街の至るところに地図が掲示されていましたが、その地図には北を上として子供がサンタクロースからもらう小さいお菓子を入れる長靴のつま先を北にした形で有名な観光地が広がっていました。

大通りの東端にある三叉路には石像がありました。その石像の下には「TARRAGONA AROSER LAURIA」と明記されていました。その三叉路（地中海のバルコニー）の下は崖になっていて、道路、鉄道、海岸線がありました。その先には、地中海がどこまでも、どこまでも続いていました。



**地中海のバルコニー**

## 2-37) Montevideo 最初の寄港

Montevideo はウルグアイ東方共和国の首都。ラプラタ川の河口にある港湾都市で、羊毛・肉類・皮革を輸出。1726 年にスペイン人が建設。東部のポシートス地区は海岸保養地。人口、行政区 136 万 (1991)。

Montevideo に着岸したのは 6 月 30 日、

港はラプラタ川に東から西へ突き出る **Montevideo** 半島を時計回りに回ったところにありました。半島全体が防波堤の役割を果たしています。本船が着岸した岸壁からは、最寄りのゲートが南東と南西方向に 1 つずつありました。南東ゲートから出て南にある街（小高い丘状）を南へ（ラプラタ川方向）へ登ると大きな **Plaza Independencia** 公園がありました。公園の中央に **Artigas** と明記されている馬にまたがった紳士の銅像がありました。多分、ウルグアイが独立した時の記念碑だと思われます。観光客がその周りで記念撮影をしていました。

その公園から西側（半島の先端方向）が旧市街でした。建物や石畳の道路の全てから歴史の香がしました。途中に **Plaza Constitucion** 公園ではフリーマーケットが開かれていました。その直ぐ西隣には大きな教会（メトロポリタン大聖堂）があり、南にはマクドナルドがありました。マクドナルドは世界どこにでも店舗を構えているのですね。

公園の中央には噴水があつたのですが、修理中でした。そこからさらに西へ歩くと **Plaza Zabala** 公園がありました。質素な公園で、中央に銅像がありました。公園内には椰子の木に混じり松と柳とが植えてあつたので驚きました。そう言えば、去年年末から今年年始にかけて寄港していたチリ **Corral** やスペイン **Cadiz** にも多数の松の木を見かけたのを思い出しました。海（ラプラタ川などの大河）と松とはセットなのでしょうか？ その公園からさらに西へ進むと本船が停泊している岸壁の南西方向にあるもう 1 つのゲートにつながっていました。ゲートには「**Terminal Fluvio Marima De Montevideo**」と大きく書いてありました。そのゲートのすぐ前は四差路の交差点になっていて、その交差点から南側にはレストランや換金所、お土産

産屋さんが軒を並べていました。旧市街は道路が狭く、ほとんど一方通行でした。道路は碁盤の目の如く縦横無尽に走っていました。その細い道を路線バスやタクシーが頻繁に往来していました。

私が 2 回散策した半島の先端は **Ciudad Vieja** 地区と言います。ここも欧州の各港都市と同じで、町の造りが港を中心として内陸部にどんどん開発（進出）されたのだと実感しました。荷台を引いたロバが道路を走っているのを見かけた時は驚きました。まさに「文明の交差点」でした！

ラプラタ川の対岸にある隣国アルゼンチンの首都 **Buenos Aires** とは船と飛行機とで結ばれています。両首都の距離は **213km**。空港が中心地から遠くにあるため、**Montevideo** の人々は **Buenos Aires** に出かける時は飛行機よりも船便を利用するそうです。高速艇が片道 **2.5** 時間、フェリーが片道 **12** 時間で運航されていました。旧市街は、平日には人通りが多かったのですが、土曜日になるとお店はレストランとスーパー以外は閉まっていて、家族連れを時々見かけるぐらいでした。ちょうど季節が日本とは逆で真冬でしたので、日没が **17** 時。 **16** 時になると平日でもお店が閉まる時間でした。旧市街からは、どこからでもラプラタ川を目にすることができました。

半島の南側には片側 **3** 車線の道路 **Rambla Sur** 通りがあり、その南側はラプラタ川に面する遊歩道（ところどころ公園）になっていました。その遊歩道に立ってラプラタ川を展望していると、日本人である私にはこれがまさか河であると想像すらできませんでした。それは **1520** 年 **1** 月 **9** 日にラプラタ川に到着したマゼラン提督以下の冒険家たちの目にも同じに写ったと思います。

さて、せっかくの機会なので買い物に出かけることにしました。タクシーは米ドルが使



用できると聞いたのですが、駄目でした。たまたま駄目だったのか分かりませんが、10分ほど歩いて銀行のようなお店「Disco」に入りました。アルゼンチン上陸で学習したので、キャッシュマシーンに VISA と Master の 2 種類のカードを入れて暗証番号を入力するとメッセージが出てきました。メッセージは多分スペイン語だと思われたので、私のすぐ後ろに並んでいたビジネスマンに英語に訳してくれと頼むと親切に教えてくれました。どうも、このマシーンはウルグアイ国内専用カードのみ使用できるとのこと、しょうがないのでマシーンの隣にあるカウンターで米ドルをペソに換金してもらいました。タクシーに乗って、いざ出発！

Plaza Independencia 公園から片道 15 分ほど東へ走ったところに大きなショッピングモール Punta Carretas Shopping がありました。ショッピングモールも世界共通ですね。住宅街の中にあって、最上階には軽食コーナー、映画館、ゲームコーナー。その下階に店舗が並んでいました。地下には食料品売り場と駐車場。入口にはバス停とタクシー乗り場がありました。タクシー乗り場には係りが立っていて、その係りがチケットをタクシー運転手に渡すと運転手からコインを受け取っていました。歩合制なのでしょうか？最近まで気づかなかったのですが、「アルゼンチンの国旗」左上に黄色い太陽が描かれています。その太陽には表情があるのです。日本人にとって太陽は赤色ですが、アルゼンチン人にとっては黄色でしかも表情があるのですね。10 年前ご一緒した某船長が言っていました。外国人に「リンゴの色は何色か？」と質問したところ、意外な回答が帰ってきた話を思い出しました。色彩感覚は国民によって多種多様なので、外国人と一緒に仕事をしていると仕事以外の色々なことも勉強することができます。

## 2-38) Setubal 前編

ポルトガルの首都リスボンから南へ 50km のところに Rio Sado 川が東から西へと流れています。その川に面した港町 Setubal があります。2000 年にはポルトガルで 4 番目の重要な港にランクされました。工業と造船が盛んです。



### Setubal Quato

この港の Tersado 岸壁に 7 月 22 日から 29 日まで停泊していました。22 日の朝 4 時、船橋を昇橋すると暗闇の中、左手 Sesimbra の黄色い明かりの群れが見えてきました。Setubal は右奥なので街の明かりは西側に広がる山に阻まれて一部しか認めることができませんでした。実は、カナリア諸島を通過する前後からスペインやポルトガルのあるイベリア半島の西に高気圧が張り出していました。その高気圧からの噴出し風で、夏には珍しくカナリア諸島からここ Setubal まで大西洋はずーと強い北風のため波が高く、海は時化していたのです。(本船が Setubal に到着したら穏やかになりました)。本船が岸壁に着岸してから日出を迎えました。

Setubal も他の欧州都市と同じで、夜景の色が黄色に統一されて見事でした。しかし、夜が明けると大部分の建物は屋根が橙色で壁は白色で、昼間の色も統一されているようでした。

早速、荷役(船から岸壁への荷物の陸揚げ)

がない7月24日昼前から上陸しました。まず、街にはたくさんのツバメが飛んでいました。世界中の港でツバメを見るたびに私の生まれ故郷（岡山県倉敷市）を思い出します。そして、本船の岸壁から街まで徒歩30分かかるのですが、その間に Setubal の対岸 (Rio Sado 川をはさんで南方) Troia 半島の西先端にあるリゾート地を結ぶフェリーと高速船（いずれも黄緑色）の船着場がありました。日曜日であったので海水浴に出かける家族連れで賑わっていました。



ヤシの木とフェリー



街並み

街の至るところでヤシの木を見かけました。細長く背の高い木ではなくてお相撲さんのように横にどっしりと安定感のある身長の高いヤシの木です。また、ここはポルトガル唯一のイルカ Bottlenose dolphins の生息地としても有名だそうです。ここ以外では、Moray Firth (Scotland)、Shannon Estuary (Ireland) にしかいないそうです。港前にはたくさんの駐車場がありました。休日になる

と自家用車でここまで乗り付けてフェリーや高速艇で対岸 (Rio Sado 川南) にある Troia 半島北西端に位置するリゾート地 Hotel Rosa Mar、ヨットハーバーや海水 (河水) 浴場に渡っていました。

街の至るところにある公園の木は、主にヤシでした。外装はそのまま残して内装をリフォームしている住宅、会社も多く見かけました。ヨーロッパ人は日本人以上に古いものを大切にする習慣があることを改めて認識しました。ポルトガルの踏み切りは日本のよう



観光バス

にカンカンカンではなくてチリンチリンと鳴っていました。

日本と同じで、港にある公園からは魚釣りを楽しんでいる人が多くいました。屋根がなく蒸気機関車の形をしたオープントップバスが走っていました。タクシーはスーパーマーケットと駅前でしか見かけませんでした。町並みは古いので道路も狭く、一方通行が多かったです。その上、旧市街は迷路のようになっていました。どの家にもパラボラアンテナがあり、2階の窓から洗濯物をつるしていたのが印象的でした。

教会の鐘が鳴ったので時計を見ると 1130 時でした。近く中華レストランで食事を取り、再び歩き始めるとすぐ東に日本食レストランがあったのにはがっかりしました。9 か月余り日本食を食べていなかったからです。



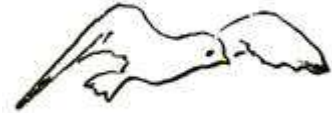
石 畳



風 景

7月24日14時ごろの気温は28.5度でした。どうしても駅に行きたくて街中を練り歩くこと3時間、やっとSetubal駅に到着しました。日本のようにあちこちに親切な道路案内標識がないので困りました。駅から鉄道伝いに南東方向へ旧市街まで帰ってくると、途中にPraca do Quebedo駅があり、迷路の街中を通り抜ける（近道する）と15分で港のゲ

ートまで戻ってくることができました。但し、帰り道はどこにも駅の道路案内標識はありませんでした。Tersado岸壁のゲートには、大きな文字でTerminais Portuarios do Sado, S.A.と書いてありました。岸壁を管理している港湾会社名なのでしょう。





# 私のマラソン奮闘記

鳥羽商船 N48 水野博之

きっかけは・・・

私がフルマラソンを走ることとなったのは、今をさかのぼること 18 年前、48 才のときであった。

それは、当時の上司の「おい水野！今年は何かに挑戦しようぜ。」との一言から始まった。

私が二の句を継ぐまえに「そうだ、フルマラソンがいいな、やろうぜ。」と、なかば命令により私のマラソン人生はスタートした。

私はある電線メーカーに勤めており、人事部で労務・厚生を担当、その上司は人事部長であった。

## 練習開始、ちらつく挫折と続けられた理由

翌週よりさっそく練習が始まった。オフィスは東京の江東区に位置し、近くに木場公園があったことから水曜日の定時後に公園内コースを走ることとなった。

その周回コースには、多くの市民が歩いたり走ったりしていたが、私と上司は走者にはもちろんのこと歩行者にも抜かれる始末であった。そのうえ、上司はともかく私は肥満型であり、これを目撃した者はだれもフルマラソンの練習をしているとは思わなかったに違いない。

私は内心、途中で挫折するだろうと踏んでいたが、ただ練習後のビールがとてつもなく旨いので、そちらの動機で続けていたといったところだ。

この水曜日練習はやがて職場の皆知るところとなり、激励もあれば忠告もあるなど反応はさまざまであったが、激励には素直によるこび、忠告には反発の思いがわき、いずれも練習を後押しする形となった。

これに気を良くした私は機会があるごとに、またあらゆる人にフルマラソンに出ると公言してはばからなくなった。これが、物事を持続する秘訣だったようで、以降たびたび声をかけられては「練習進んでいる？」「調子はどう？」と訊かれ、否応無しに練習に精をだすこととなった。



木場公園は水と緑の森林公園として整備され、葛西橋通り、仙台堀により南、中、北の3地区に分けられ、木場公園大橋が各地区を連絡している

## 10ヶ月後、フルマラソン出場の時は来た

目指す大会は、千葉県佐倉市で毎年3月に開催される「朝日佐倉健康マラソン」で、同市在住の私にとっては地元での大会であった。前年の初夏からスタートした木場公園の練習



は秋口には地元での個人練習とし、休日の朝に自宅から各キロポイントまでの往復走で行い、徐々に距離を伸ばしていった。

5キロから始めた距離は年を超える頃には20キロまで連続して走れるようになっていた。冬場の早朝はとにかく寒く、手先・足先・耳がかじかんで痛みが走るのには閉口した。

だが、エントリーも済ませ、自宅に届いた当日の大会スケジュール・コース案内が、切実に練習の必要性を呼び起こしひたすら走るほかなかった。

こうして、2月半ばにはついに30キロまで走行距離を伸ばすことができ、約半月後に迫った大会に向け自信もついたころであった。

例の上司から言われた「俺、都合悪くなったから、水野独りで走ってくれ」と。これには参った、2階にのぼって後からはしごを外されたとはこのことか。

後日談になるが、ある4月給与日のこと、朝出かけに女房に「定期昇給の分、今月の給与は増えるよ」と告げ、さて会社でいただいた給与明細をみて愕然、上がるどころか大幅減となっていた。この上司に間違いではないかと訊いたところ「自分の働きを考えたらわかるだろう」と取りつく島もなく、さてどうして家に帰ろうかと思案したのを思い出す。

この時は女房の「いいじゃないの、お父さん、下がったら下がったで、知恵をだして遣り繰りすればいいから」との一言には本当に救われた。

### やったぁ・・・ 完走の感動！

さて、迎えた当日、スタート地点にある友人が激励に駆けつけ、「頑張れよ、35キロポイントで応援しているぞ」との一言を耳に、レースはスタートした。

練習の成果もあり序盤・中盤は至極順調であった。しかし、20キロをすぎたあたりから異変が、「足の裏が剥けているようだ、思うよ

うに足が動かない」、練習ではなかったことが起こり始め動揺が走る。

25キロを超えると上半身に來た、「右に体が傾いているかなりの角度だ、視界が斜めだ」、だがどうすることもできない。

「苦しい、苦しい、リタイヤするか？いや、35キロまで行かないとやばい。あとでどういわれるか、それもきつい。よし、とにかくそこまで行こう」。

足を引きずり、引きずり上半身がくの字となった私は気力でたどりついた。かれは待っていた、そして無言で迎えてくれた、というか私の壮絶な姿をみて言葉が出なかったのだと思う。それから先はよく覚えていない。気力と沿道の応援で足は辛うじて動いた、「動け足よ、ゴールまで！」私の叱咤は続いた。

最後の1キロはまるで、それまでの41キロくらいに長く・長く感じられた。

そして走りきった。ゴール！万歳、やった、その瞬間苦しさは瞬く間に喜悅と変じた。

### 今に続く、マラソン人生

こうして、約10ヶ月のドラマは終わった。しかし、今なお私はフルマラソンを走り続けている。途中に当社沼津事業所への単身赴任の時期があり、その8年間には中断したもの（言い訳をするならば、沼津の私のアパートの周りは市街地で練習は危険を伴うものであったため）、毎年の佐倉フルマラソンに出場を続けている。

なぜかと問われても答えようもない、ただ「そこに佐倉健康マラソンがあるからだ」と言う他あるまい。

晩秋のころになると、JR佐倉駅に「朝日佐倉健康マラソン」のポスターが貼りだされる。それが目に入ったとたん、フルマラソンが芽生え、エントリーをする12月ころには俄然モードにはいる。毎朝の10キロ走がスタートし、土日の朝は暗いうちから走り始める。

私のこだわりは、マラソンがごときもの日頃の生活に支障を来してはならないと、練習は7時半前には終わることとしている。

会社は徒歩5分の近距離にあり、シャワーを浴び朝食後向かってでも始業に間に合うのだ。まさに朝飯前だ。

わがマラソン練習で忘れてならないのはもう一つ5万歩歩行である。

レース1ヶ月前になると万歩計を忍ばせ、暇を見つけては歩く、テレビも居間を歩きながら見る、新聞も廊下を歩きながら読むなど徹底して1日5万歩を歩くのである。フルマラソンで計測される歩数計の歩数は約5万歩、この歩数を毎日30日間にわたり歩くことで、フルマラソンに耐えられる足を作るのである。こうした練習にもかかわらず予期せぬことが起こるのがマラソンである。

熱中症となりタンカで運ばれたこと、誤った走法が災いしリタイヤしたことなど数々あった。

### 余談、上には上が・・・

去年のことになるが、雨のレースの後でずぶ練れとなり、近くの学校の軒先で着替えていると両隣で同様に着替えているランナーがおり、勢いお互いの話となった。

左隣りの人、どう見ても私と同じ年くらいにみえたが、年齢を訊ねた。すると、「ええ、私は今年で74才になりました」と、すかさず私「えっ、74才ですか、私いま4時間13分で走り終えたのですが、お宅もそのくらいですか?」、その方「今日はようやく4時間を切ったところですよ。いつもは3時間半位で走っていますよ」、これには3度びっくり思わず「若い頃からやっておられるのでしょうか?」と訊くと、「いや、マラソンは66才から始めました、私はまだ駆け出しで、友達には87才で走っている人がいますよ」と来た。

目から鱗どころかそのまま目玉がおちたよ

うな衝撃があった。

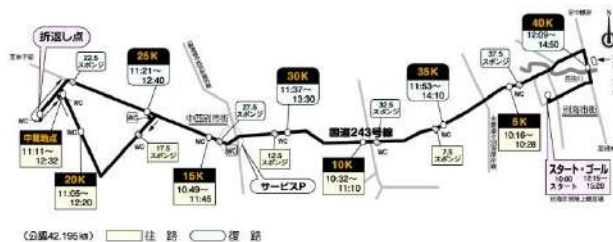
もうそろそろ潮時かなと思っていたけど、フルマラソン続けるしかないか!

それどころか、今年は3月の佐倉健康マラソンに加え、10月の北海道「別海町パイロットマラソン」のフルマラソンもエントリーしている。

今春の健康セミナーでドクターの問診があり、「水野さん、春のマラソンに加えて秋にももう1つフルマラソン入れられたらどうですか、1年を通した練習が出来るでしょ」とのアドバイスによるものである。

普通ドクターはあんまり無理をしないでと言うのかと思っていたが・・・。さらにその北海道別海町パイロットマラソンには5キロの部があり、女房も生まれて初めてレースに出ることとなった。

給与ダウンの時の一言、そして今回の挑戦、これは女房の前向きさにもあるが、ひょっとして私のマラソン人生が開いた新たな地平かも知れないと、人知れずほくそえんでいる。



追記：この体験については、母校岩田先輩から依頼があり記すこととなったことを書き添えます。 2019. 8. 7 (水野記)



## 富山高等専門学校

<学校便り>

### ○第 54 回全国高専体育大会

8月から9月にかけて開催された第54回全国高専体育大会において、多くの学生が日頃の練習成果を発揮し、好成績を収めました。その一部を紹介します。(1位から3位のみを掲載)

<団体の部>

一射水キャンパス

- ・陸上競技：男子団体 総合優勝、  
女子団体 総合優勝

<個人の部>

一射水キャンパス

- ・水泳：女子平泳ぎ 100m 1位,  
女子個人メドレー200m 2位
- ・陸上競技：(男子) 100m 1位, 200m 1位,  
400m 1位, 4×100mR 1位,  
4×400mR 1位, 走高跳 2位,  
砲丸投 1位, 円盤投 1位/3位,  
(女子) 100mH 1位, 200m 3位,  
4×400mR 1位, 砲丸投 2位,  
円盤投 1位, 走り幅跳び 1位,  
柔道 60kg級 2位

<個人の部>

一本郷キャンパス

- ・柔道：(女子) 63kg級 1位, 48kg級 3位
- ・水泳：(男子) 100m 平泳ぎ 1位,  
200m 平泳ぎ 1位, 200m 背泳ぎ 1位,  
200m 個人メドレー 1位,

### ○商船学科卒業証書授与式・専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式

9月20日(金)、令和元年度商船学科卒業証書授与式及び専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式を挙行了しました。

航海実習用の白い制服に身を包んだ商船学科卒業生36名へ卒業証書が、海事システム工学専攻修了生3名へ修了証書が手渡され、賞雅校長から「本校で学んだ技術、問題解決能力そしてコミュニケーションの成果を、ぜひ我が国の海事産業、そして我が国・世界の発展にぜひ役立ててください。」と祝辞が述べられました。

続いて在校生代表の国際ビジネス学科4年生の宮下日向子さんからの送辞を受け、卒業生・修了生を代表して商船学科の大谷咲季穂さんが「本校で得た知識や経験、そして仲間たちとの沢山の思い出という宝物、財産を糧に、自分たちの人生の航路を自分たちで切り開き、一步ずつ前へ進んでいきたい。」と力強く答辞を述べました。

式終了後には、卒業生全員により「登壇礼(とうしょうれい)」が披露され、これからの人生への船出を祝う大きな拍手に包まれながら、輝く未来へと旅立ちました。





## ○洋上救命講習を実施

本年も富山新港近くの射水市海老江沖にて洋上救命講習を実施し、商船学科の4年生37名が参加しました。学生たちは練習船「若潮丸」のデッキから着衣のまま救命胴衣を装着して海に飛び込み、洋上での救命技術の体得に励みました。午後からは実習海域を新湊沖に移動し、各種遭難信号の打ち上げ実習を行いました。

## ○いきいき茨城ゆめ国体 2019 に出場

9月28日(土)～10月8日(火)に開催された第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」の下記種目に、本校から2名の学生が出場しました。

ー射水キャンパスー

- ・陸上競技：ハンマー投、100mH、4×100m



デッキから2.7メートル下の海中へ

## ○全国高等専門学校ロボットコンテスト 東海北陸地区大会

10月20日(日)、ウイングアリーナ刈谷メインアリーナ(愛知県刈谷市)にて「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2019」東海北陸地区大会が開催され、本校からは射水キャンパスと本郷キャンパスそれぞれ2チームずつ出場しました。

競技名は「らん♪RUN Laundry(らん・ラン・ランドリー)」と称し、試合時間は2分30秒内で、2台のロボットで洗濯物に見立てたTシャツ・バスタオル・シーツを高さの違う3本の物干しざおに干していき、その数ときれいさを競いました。

惜しくも本校チームの全国大会出場は叶いませんでしたが、本郷Bチームが特別協賛社の本田技研工業(株)殿より、また射水Bチームが協賛社であるローム(株)殿よりそれぞれ特別賞を受賞しました。

(学生主事補 商船学科 松村茂実)



救命筏まで懸命に泳ぐ4年生

## ○夏季・秋季オープンキャンパスを開催

主にこれから進路について考えようとしている中学生とその保護者、いよいよ進路について決定しようとしている中学生の皆さんをそれぞれ対象とし、夏季と秋季にオープンキャンパスを実施しました。

8月7日(水)～9日(金)の3日間で開催された夏季オープンキャンパスでは、「若潮丸」に乗船して船橋・デッキ・機関室・制御室で出入港時および航海中の航海士および機関士の仕事を



見学する体験航海を実施しました。

参加者は船の運航の様子や船で使われる機器を実際に見学すると共に、乗組員や学生と交流することで、船員の業務や船で働くことの魅力、実際の学校生活等について、より理解を深めて頂けたと思います。

## ○「海の仕事を知ろう！」

### —小学生乗船体験 2019— を開催

8月19日(月)、本校臨海実習場及び「若潮丸」において「海の仕事を知ろう！—小学生乗船体験 2019—」を開催しました。

このイベントは、「J-CREW プロジェクト～やっぱり海が好き～」が、未来の外航船員のなり手となる若い世代を対象に、船や船員の魅力を伝えるために開催するものです。

小学5～6年生の親子等15組30人が参加され、「若潮丸」での約1時間の富山湾のクルーズ体験・ブリッジや機関室などの船内見学や現役船員による講演を聴くなど、海の仕事について学んでもらう機会となりました。

また、J-CREW プロジェクトのマスコットキャラクター(キャプテンなみ丸・ペギ機関長・サニーラダー)や5代目海月七海の空閑琴美さんが一緒に乗船するなどし、イベントを盛り上げました。



接岸する様子を見学する参加者



全員で記念撮影

## ○「飛鳥Ⅱ」見学会を開催

8月22日(木)、伏木富山港に入港した「飛鳥Ⅱ」を商船学科の学生と本校教職員が見学しました。「飛鳥Ⅱ」で勤務されている本校卒業生及び鳥羽商船高専卒業生の方に船内を案内いただき、船内のパブリックスペース、客室など一般的な旅客設備のほか、ブリッジや機関制御室も見学しました。

将来、航海士や機関士として勤務する際に職場となる実際の船の現場を見学することにより、学生の将来のキャリアをイメージする一助とすることができました。



飛鳥Ⅱの前にて

## ○1年生に産学連携教育を実施

9月26日(木)、1年生を対象に「産学連携教育Ti-TEAM第1回」を実施しました。このプログラムは、イノベーションを創出できる人材、

グローバルな世界で活躍できる人材、そして社会に貢献できる人材を持続的に育成するため、産業界と連携・協同して、低学年学生に対し多角的な視点から課題を発見、解決する力を養成するための取り組みとして、今年度よりスタートしました。学科の垣根を超えたチームで協力し、取り組みに協力を申し出ていただいた企業について事前学習や取材で情報収集して、アピールポイント等を企業レポートとしてまとめます。



担当教員による趣旨説明



第1回目のチームの話し合いの様子

から商船教育の概要、金山船長及び山谷機関長から練習船の概要等について説明を行い、実際に乗船して貰う機会を設けるなど、商船系高専の特色と取り組みや練習船の状況をご理解いただく貴重な機会となりました。

### ○次世代の海洋人材の育成「OB が学生に語り掛ける会」を開催

9月26日(木)、本校のOBで東京湾水先区水先人会に勤務されている小山雄児様から、本校の商船学科の学生(4年生6名・3年生1名)に水先人の業務内容などについて講演いただきました。実際の海図等を使った説明や、水先人の業務において発生しうるトラブル、また、水先人の生活やライフプランの具体例といった、たくさんの臨場感あふれる話を聞くことができました。学生たちは講演に熱心に聞き入り、多くの質問を講演者にしながら今後の進路の参考としていました。



熱心に聞き入る学生たち

### ○国会議員が本校を視察

10月2日(水)、自由民主党赤池誠章参議院議員、田畑裕明衆議院議員、堂故茂参議院議員が本校射水キャンパス及び「若潮丸」を視察に訪れました。賞雅校長から本校の概要説明に続いて、レーダシミュレータ実験室及び実験実習棟、臨海実習場、若潮丸を視察されました。水谷副校長

### ○ホームページに研究分析レポートを掲載しました

本校ではかねてより、研究の高度化・学生教育の充実を目指してきました。実際に本校がどの程度の研究力を有するかについて客観的に把握する目的で、このたびクラリベイト・アナリティクス社が提供する Web of Science を利用して、

高専機構全体及びその中での本校の研究力を分析し、レポートをホームページに掲載しましたのでお知らせいたします。

本校の研究力は総じて高いとの分析が得られました。これらの分析結果をもとに、今後も本校の研究力をさらに伸ばすよう注力していく所存です。

リンク：

<https://www.nc-toyama.ac.jp/research/rdc/analysis>

(教務主事補 商船学科 福留研一)



### <北斗会便り>

先日 TV ニュースで立山に初雪が観測されたとの報道がありました。例年より 10 日ほど遅いとのこと、これも地球温暖化の影響なのでしょう。日本各地で異常気候による大きな災害が発生して、その被害模様は想像をはるかに超えるものばかり。被害者の方々には心よりお見舞い申し上げます。

さる 9 月 20 日に母校の商船学科の卒業式が、全船協から土屋氏を来賓に迎えて挙行されました。また、富山県の恒例行事とあって地元 TV、新聞メディアにも大きく取り上げられました。

学校のトピックスといえば 11 月 6 日に「代替え練習船建造」にかんして、5 商船高専の同窓会代表者と学校側代表者が文科省に陳情に上がりました。北斗会からは永守会長が参加されました。

統合高専になってから早や 10 年、卒業生も二千人を超えています。前回は案内しました新同窓会「富山高専同窓会」(純粋の富山高専卒業生の同窓会)の理事会が先月行われました。会長には射水キャンパス電子情報学科卒業の「稲積」氏が選ばれ、役員や今後の活動方針等が話し合われました。

「北斗会」「ほんごう会」との関係など今後への課題も多く残りましたが、新しい船出にエールを送りたいものです。

北斗会 佐々木 記





## 鳥羽商船高等専門学校

### 東海地区高専大会男子走高跳で2連覇

7月6日(土)・7日(日)に、AGF 鈴鹿陸上競技場で開催された第57回東海地区国立高等専門学校体育大会陸上競技の男子走高跳(エントリー8名)に、本校から出場した畠田寛大君(電子機械工学科3年)が、1m92cmの記録で2連覇を達成しました。

この結果畠田君は、8月17日(土)・18日(日)にエディオンスタジアム広島で開催される第54回全国高等専門学校体育大会陸上競技の出場権を獲得しました。



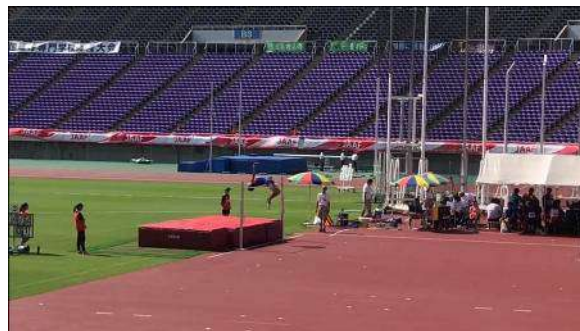
### 全国高専大会男子走高跳で優勝！！

第54回全国高等専門学校体育大会陸上競技が、8月17日(土)・18日(日)に、エディオンスタジアム広島で開催され、本校から男子走高跳に出場した畠田寛大君(電子機械工学科3年)が、2m01cmの自己新記録で見事優勝しました。

インターハイ3位の近大高専本田君のエントリーは、なかったものの、畠田君を含めて、3名が2m以上の自己記録を持つハイレベルな競技会を制しました。

2m01cmは、10月に開催される第35回U18日本陸上競技選手権大会の参加標準記録にあたります(標準記録突破者のうち上位20名が出場可能)。

高専大会のみならず、同世代の国内トップレベルの大会での、畠田君の活躍が期待されます。



### 「オープンキャンパス 2019」を開催しました

8月9日(金)・10日(土)に、鳥羽商船高専「オープンキャンパス 2019」が開催されました。

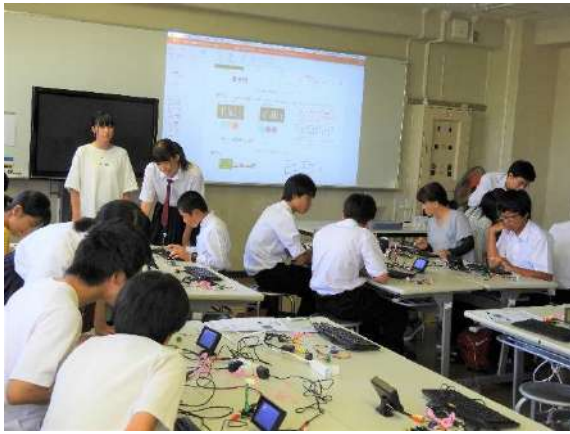
参加者数が過去最高となった今回のオープンキャンパスは、好天にも恵まれ、練習船「鳥羽丸」での体験乗船航海、情報機械システム工学科による実験実習公開など、どのイベントもたいへん盛況でした。

また、学寮見学や、学食でのランチは、本校学生の学校生活を知っていただくうえで、格好の機会となったのではないのでしょうか。

年々参加者数が増加傾向にある本校のオープンキャンパス。

今後も、より多くの方にご満足いただける対応を心掛けます。





## 全日本ソーラー&人力ボートレース大会 2019にて学生総合優勝および自己新記録 達成

8月24日(土)・25日(日)の両日、全日本ソーラー&人力ボートレース大会2019が、愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターにて行われました。

本校では商船学科の学生を中心にボートの設計から製作までを行いこの大会に出場しています。

レース前日は大雨でしたが、当日は暑い晴天となり、新たに設計・製作したプロペラのおかげでトラブルも無く全レース無事完走することができました。

レースの結果は新しいプロペラの性能が良く、7.89ノットという自己新記録を達成することができ、昨年に引き続き「学生の部総合優勝」と素晴らしい結果を達成しました。

今後も、高専生らしいアイデアと創造力で新たな記録へのチャレンジを期待していきたいと思います。

## 第48回商船学科卒業証書授与式並びに第 12回専攻科(海事システム学専攻)修了証 書授与式を挙

9月23日(月・祝)、第48回商船学科卒業証書授与式並びに第12回専攻科(海事システム学専攻)修了証書授与式を挙りました。当日は台風17号の影響による悪天候が心配されましたが、式が始まる頃には突き抜ける青空が広がり、盛会に挙することができました。

式では、林校長から商船学科卒業生30名に卒業証書、専攻科(海事システム学専攻)修了生2名に修了証書が手渡された後、「友達を大切に、自分の命、家族の命、周りの人々の命を大切に、今後取り組むべき仕事で社会に貢献されることを祈念いたします。恐れずに弛まずに、希望という輝く星に向けてそれぞれの針路をセットしてください。」と式辞が述べられました。

式の最後に、白い制服姿の卒業生全員が一列に並び、在校生に向かって「ごきげんよう」と挨拶し、帽子を宙高く投げる伝統の別れのパフ



オーマンスを行い、晴れ晴れとした姿で学び舎から巣立っていきました。



(商船学科航海コース 齊心俊憲 記)



前日の土曜には学生たちに同窓会から恒例の報奨金と課外活動支援金の授与式を行いました。

今年は報奨金が7万円、課外活動支援金が25万円。10のクラブ、個人、研究室に支給されました。

同窓会費は仲間同士の親睦、交流と共に母校の発展にも寄与する目的で使用されている事実を同窓生皆様全員にご認識していただきたいと思います。

## 鳥羽商船高専同窓会だより

### 第52回海学祭に参加しました

10月27日(日)母校鳥羽商船高専において第52回海学祭が開催されました。

母校高専昇格前年の昭和42年が第1回で、筆者が1年生の時時代は大きく変わりましたが学生たちの熱気は今と変わらず青春時代を彷彿させます。

同窓会も海学祭に参加し、長老庵というブースを出店し今年で11年になりました。

当初は関東で著名なそば店を経営していた同窓先輩手作りの本格日本そばを提供して人気を博していました。

近年はお餅の磯辺焼き、ぜんざい、本格コーヒーとメニューも様変わりしましたが今年も同窓会伊勢志摩支部の有志と奥様方の協力を得て完売し、売り上げを同窓会に寄付いたしました。



### 百周年記念館資料室と近藤真琴翁記念碑周辺

同窓生、在校生、教職員の皆さま、ご存じですか？

100周年記念館の1階と2階の資料室には校祖近藤真琴翁はじめ東郷平八郎、鈴木貫太郎、永野修身書の大きな額、そして母校の歴史年表、同窓の下村甚一郎先輩作の戦没船員の御名が記された木彫りの大きな額、近藤翁の貴重な資料、古い教材などが展示されています。



近藤真琴翁記念碑は勝海舟の書を碑に刻まれた母校の貴重な宝です。

皆様母校だけでなく鳥羽の貴重な宝をぜひご覧ください。



近藤真琴翁の慰霊を偲ぶため、遠方から鳥羽に来られることを同窓会として大変感謝申し上げます。ありがとうございました。



同窓会事務局

### 攻玉社高等学校生、母校訪問

11月11日、校祖近藤真琴翁を同じくする兄弟校の攻玉社学園高等学校1年生（232名）と藤田教頭はじめ先生方が、修学旅行の恒例行事として、今年36回目の母校を訪問されました。

今年は、林校長はじめ、菅沼同窓会会長、中村鳥羽市長、同窓の広耕太郎県議会議員、母校学生会役員、母校職員、同窓会事務局がお出迎えし、学生たちとの懇談の場を設けました。

攻玉社高等学校の皆様は、この後鳥羽駅から奈良方面へ向かいました。



# 広島商船高等専門学校

## 学校活動

### ◎広島丸に自動販売機設置

周りの人への思いやりの心など学生の「人間力」を育てるために、日本財団が手がけている社会貢献自販機「夢の貯金箱」を広島丸へ設置し、災害復興支援特別基金に協力しています。この自動販売機は街中で設置されている「災害ベンダー」の機能を持たせているので、広島丸が災害支援に向かった先で飲料水などの提供が行えます。

また、このことにより日本財団から感謝状をいただきました。



### ◎第 63 回労働安全衛生月間標語入選

船員労働安全衛生月間（令和元年 9 月 1 日（日）～9 月 30 日（月））行事の一環として、船員災害防止協会が行っている標語募集について、昨年度に引き続き本年度も 1461 篇（和文・英文）の応募の中から、2 篇が入選しました。

優秀賞の標語は、全国の船と海事関係機関などへ配布されています。

#### 優秀賞

##### ◎ ヒヤリでよかったこの体験

次に生かそう 安全対策

商船学科航海コース

岡本昌子（令和元年 9 月卒業）

#### 佳作

##### ◎ 気づき合い みんなでやれば

助け合い

商船学科航海コース 5 年

大下博弥

### ◎第 54 回全国商船高等専門学校漕艇大会

7 月 15 日（月）に、富山高専の臨海実習場前面海域にて全国商船高等専門学校漕艇大会が行われました。

本校漕艇部は、A チーム 3 位、B チーム 2 位でした。A チームの決勝は、終始三艇がほぼ並んだままの大接戦でした。来年度は、本校が主催します。

B チーム決勝 2 位 広島商船

9 分 22 秒 69

A チーム決勝 3 位 広島商船

9 分 11 秒 07



◎「商船学科公開講座～あつまれ船長・機関長 2019～」

7月27日(土)に小中学生を対象とした「商船学科公開講座～あつまれ船長・機関長 2019～」を実施し、小中学生16名と保護者17名が参加しました。

練習船広島丸で尾道港を出港し、機関始動見学、操舵・ロープワーク体験やシーカヤック体験を行いました。当日は風が強く、パドルを操るのも難しい状況でしたが、参加者同士で協力しながら海や船への関心を深めました。

◎オープンスクール

8月10日(火)、11日(水)及び10月20日(日)に、県内外から多数の中学生と保護者が来校しました。中学生は各学科で行った特別授業を体験し、学生寮、技術教育棟及び練習船広島丸の見学をしました。



◎愛媛県東温市ジュニア体験塾



8月1日(木)及び2日(金)に愛媛県東温市教育委員会から要請があり、東温市ジュニア体験塾を行いました。体験塾では、東温市重信中学校の生徒13名が参加し、海洋環境教室や星空観察、海事・海運学習、カッター訓練及び操船シミュレーターを経験しました。



### ◎第54回全国高等専門学校体育大会

8月24日(土)、25日(日)に中国地区高専体育大会で優秀な成績を残した学生が、以下のとおり、第54回全国高専体育大会に出場しました。

卓球競技については、団体優勝、シングルス優勝と顕著な成績を収めました。

**【卓球】** 8月24、25日(鳥取県立米子産業体育館) 10名出場

男子団体戦優勝、男子シングルス優勝  
(飯田慎吾 流通情報工学科5年)

**【剣道】** 8月24、25日(山口県光市総合体育館) 2名出場

女子個人の部 1回戦突破(山田珠里佳 流通情報工学科2年)

**【陸上】** 8月17、18日(エディオンスタジア

ム) 9名出場

女子砲丸投げ 6位入賞(吉村岬 流通情報工学科4年)

女子円盤投げ 5位入賞(吉村岬 流通情報工学科4年)

### ◎海の仕事を知ろう！小学生乗船体験

昨年に続き『J-CREWプロジェクト〜やっぱ海が好き〜』の協力事業として、8月27日(火)に小学生の親子を対象に、広島丸の乗船体験、学校内の見学、ビデオ鑑賞や外航船社の講話などを行いました。

乗船体験は小雨の中の航海となりましたが、海や船がより好きになりましたという感想を多く聞くことができました。



### ◎山口県より感謝状

平成30年10月に発生した山口県周防大島

町と柳井市を結ぶ大島瀬戸への貨物船衝突事故に係る支援活動に対して、9月2日（月）に山口県から感謝状が贈られました。

贈呈式では、本校の他14の企業・団体代表者一人一人に手渡して感謝状が贈られ、あわせて村岡山口県知事から、支援に対する感謝の言葉が述べられました。



### ◎卒業証書・修了証書授与式

9月21日（土）に卒業証書・修了証書授与式を行いました。卒業生・修了生代表から、在学中や乗船実習中の思い出とともに、今後社会で活躍する決意の答辞がありました。

校舎屋上と広島丸に掲げられた UW 旗に見送られ、商船学科航海コース17名、商船学科機関コース21名、海事システム工学専攻4名が巣立っていきました。



### ◎第43回商船祭

10月19日（土）、20日に第43回商船祭（テーマ：十人十色～カラフル～）が開催されました。本校は商船学科・流通情報工学科・電子制御工学科の3つの学科があり、それぞれの個性の良さを表現するべく、実行委員を中心に賑やかに行われました。

### ◎高専フェア in 天保山まつり

11月10日（日）に全国5商船系高専と工業高専が連携し、来場者（特に少年層全域）を対象として、総合体験型イベント（陸上ブース出展、広島丸一般公開）を行いました。





## 校 友 会

### 1. 2019年合祀式挙行

10月20日(日)に、本年度の校友追悼合祀式を挙行了しました。

本年度の合祀者(2019年5月まで)

N-36 檀浦政男	N-40 小林 博
N-40 刺田 諭	N-45 花登英夫
N-46 水井満樹	N-47 岡野良晴
N-50 畝尾賢治	N-54 出張秋夫
N-55 杉原卓雄	N-61 岡林昭三
N-73 加藤善貴	N-77 有村 進
N-84 西尾一仁	E-14 岡本政廣
E-14 北地竹芳	E-16 後川卓三
E-17 寺本成春	E-23 小野沢章之
E-24 森 滋利	E-32 今井 到
E-45 宮迫正則	E-49 山本三男
C-11 秋山和昭	



### 2. 校友会ホームページ

校友会の活動やお知らせを校友会だよりとして、お知らせしています。

校友へのお知らせなどに活用して戴けますようお願い致します。

### 3. 校友会支援

女子寮建設のため、本校校友会支援として、ふるさと納税にご協力をお願いします。

(大崎上島町ホームページ)

<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp>

### 4. 校友会名簿

平成30年11月作成の名簿をご入用の方は校友会事務局までお知らせください。

(2,500円)

校友会事務局 [koyukai@hiroshima-cmt.ac.jp](mailto:koyukai@hiroshima-cmt.ac.jp)

### 5. 岡山矢弓会

岡山矢弓会がホームページを立ち上げています。

支部総会などの様子やお知らせがあげられています。

<https://okayamayayumi.wixsite.com/okayamayayumi>  
mi (岡山矢弓会)

(記：航海学科14期 清田 耕司)



# 大島商船高等専門学校

平成 30 年 10 月 22 日未明に発生した、大島大橋への貨物船の衝突事故により、本学の活動に様々な影響がありました。令和元年 7 月に完全復旧がなされました。11 月現在、本学は通学、通勤を含めて完全に通常の状態に戻っております。

お世話になりました関係各所に対しまして、改めてお礼申し上げます。

◎令和元年 7 月から 10 月にかけて行われた、主な式典、教育活動、学校 PR などを中心に紹介します。

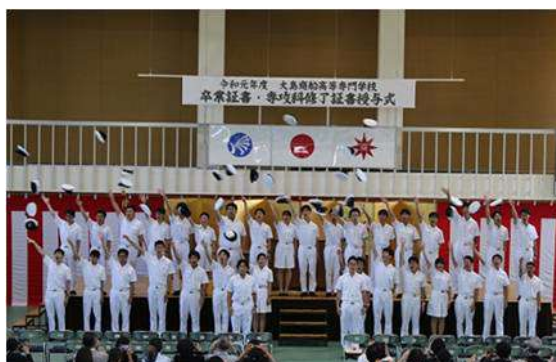
## 1. 式典・催事

### ○令和元年度 卒業証書・専攻科修了証書授与式挙

令和元年度卒業証書・専攻科修了証書授与式を、令和元年 9 月 19 日（木）に本校第一体育館において挙行了しました。令和初の卒業生は、本科商船学科 34 名（航海コース 17 名、機関コース 17 名）、専攻科海洋交通システム学専攻 2 名でした。

福田校長は、式辞で「謙虚に教わる気持ちでいればすべての事から何か学べる」と教訓を紹介し、「素直で謙虚な心ですべてを受け容れていこうとする積極的な姿勢こそが大切です。特に、失敗や辛く悲しいこと、悔しいことなどに直面した時などは、学ぶよい機会です。落ち込むことなく積極的に人生を学んでください。」と祝福・激励しました。

式終了後、卒業生は、出航時の儀式である登橋礼（とうしょうらい）にならって「ごきげんよう」と 3 回叫び、帽子を高く投げました。



令和元年度卒業式の様子

### ○給水活動等に対する感謝状の贈呈

令和元年 9 月 2 日（月）、山口県周防大島町の断水被害に係る給水支援活動等を行った大島商船高等専門学校に対し、山口県から感謝状が贈呈されました。平成 30 年 10 月に起きた、山口県周防大島町と柳井市を結ぶ大島大橋への貨物船衝突事故により、送水管が破断し、周防大島町では 1 か月以上の断水を余儀なくされました。本校は給水活動の支援や練習船シャワー施設の提供等を行いました。

贈呈式では本校のほか 14 の企業・団体に感謝状が贈られ、村岡山口県知事から、支援に対する感謝の言葉が述べられました。





給水活動等に対する感謝状の贈呈の様子



更新後の大島丸衛生設備例

## 2. 教育活動

### ○大島丸衛生設備を更新

今年度の夏季、本校練習船大島丸のシャワー及びトイレ等衛生設備を更新しました。

学生に対しては、授業で衛生設備を更新に関する概要を説明することで、船内衛生設備が船内生活にとって如何に重要であるかを指導しました。

学生からは以下のような感想がありました。

- ・ホテルのようにみえた。
- ・シャワールームの雰囲気が変わり使いやすくなった。
- ・シャワールームで足が濡れたまま出なくて良いので、気分的にもよい。
- ・女子トイレの環境が良くなったので、トイレを気兼ねなく使えるようになった。
- ・掃除がしやすいように感じた。

今後とも、学生が本校練習船大島丸を身近に感じることで、より良い実習が出来るよう努めてまいります。



### ○商船学科 1 ～ 5 年生の航海実習を実施

本校練習船大島丸において、令和元年 10 月から 11 月にかけて泊を伴う航海実習を行っております。

昨年後期の航海実習は、断水により学生が学校に通えないことから、多くの場面で予定や寄港地を変更して行いました。今年度は順調に航海実習を執り行えております。台風さえ来なければ、気候も穏やかであり、学生は楽しそうに実習をしておりました。

### ○サイバーパトロールの講習を受講

本校コンピュータ部の学生が、山口県警生活環境課と柳井署の警察官の指導の下、令和元年 8 月 20 日（火）にサイバーパトロールの講習を受講しました。講習会では、ブランド商品の模倣品を販売する違法サイトを容易に見つける手法や、疑わしいサイトを見極めるための技術的な手法について教わり、実際にインターネットの検索機能を利用して違法サイトと疑われるサイトを調べました。また、不適切な内容が記入されたツイッターの記事を見つけ、通報サービス業者への確に連絡する手法も学びました。

### ○高専ワイヤレス IoT 技術実証コンテストに採択されました

高専の学生が主体となって提案し、第 5 世代移動通信システム (5G) 及びワイヤレス IoT の新たな活用方策に関する提案公募「高専ワイヤレス IoT 技術実証コンテスト」(総



務省)において、本校の学生グループが「IoT部門」にて採択されました。



サイバーパトロール講習の様子



高専ワイヤレス IoT 技術実証コンテストの様子

### 3. 学校 PR 活動および地域連携活動

#### ○令和元年度第 2 回オープンキャンパス開催

令和元年 8 月 3 日 (土)、本校にて第 2 回オープンキャンパスを開催しました。山口県内や広島県、九州等各県から 277 名 (うち中学生 166 名) の方に参加いただきました。全体説明の後、参加者は本校学生の案内により、各学科の体験学習や施設見学、大島丸体験航海等をしていただきました。また、1 日コースの参加者の方には学生寮での昼食体験もしていただきました。



第 2 回オープンキャンパスの様子

#### ○地域住民に対する避難所の見学・説明会の実施

令和元年 7 月 5 (金) に、地域住民に対する避難所の見学・説明会を実施しました。

大雨や土砂災害の恐れのある場合の避難所として指定されている本校の武道場、大会議室及び避難時に利用することになる学内施設を案内するとともに、AED の設置場所等も案内しました。22 名の地域住民の方々が参加され、皆様熱心に説明を聞いておられました。



地域住民に対する避難所の見学・説明会の様子

#### ○テレビ番組「ムーブマン・ネオ」収録

令和元年 7 月 17 (水)、本校会議室において、テレビ番組「ムーブマン・ネオ」の収録が行われました。「ムーブマン・ネオ」は、大学生及び高専生を軸に山口県の未来を創る地方活性化のアイデアをディスカッションする番組です。パーソナリティの大谷泰彦 (ヤスベエ) さん司会の下、ゲストとして、本校から商船学科 3 年川崎輝君と上村尚希君が、特別ゲストとして有限会社千鳥代表取締役、山崎浩一氏が出演しました。出演者は、山口県を活性化するアイデアを熱く議論しました。



## ○第 54 回全国商船高専漕艇大会結果

令和元年 7 月 15 (月) 富山高専において全国商船高専漕艇大会が開催されました。今年度は A、B の 2 艇が出艇しました。大会の結果、見事 A 艇が優勝を果たしました。顧問教員の熱く長い文章が学校 HP にありますので是非ご覧ください。

参考 HP <<http://www.oshimak.ac.jp/campus/topics/post-93.html>>



「ムーブマン・ネオ」収録の様子



全国商船高専漕艇大会の様子

## ◎おわりに

大島商船としては、大島大橋が無事に完全復旧したことを喜んでおります。

今年度、本校においては、2 箇所の改修工事が同時に行われています。無事に工事は進んでおります。大島丸の衛生設備更新により感じましたが、新しい綺麗な設備は、学生が喜び、やる気が上がります。5 商船に共通した課題ではありますが、校内練習船を良い形で更新できれば新たな一里塚になるかもしれません。

去年行えなかった商船祭を先日無事に執り行えました。例年より多くの方にご来場いただいたと思います。私が、次回本稿を記載することになりましたら、改めて本稿にまとめたいと思います。

(教務主事補 村田 光明 記)

## ◎小松会だより

令和元年となりましたが、なお一層厳かに福田校長、酒迎会長、同窓生 35 名、教職員、現役学生の参列のなか、慰霊祭が執り行われ、新たに 16 柱の同窓生の御霊を慰霊塔に現役 5 学年・福喜学生の時鐘が鳴る中、皆で合祀いたしました。

その後、行われた大島商船高専同窓会・理事会・総会では、一期 2 年間・各支部理事改選の年であり、それに合わせ、3 期執行部を担っていただいた酒迎会長、安本、市川、小川副会長の皆さんが役を終えられ、広重会長、窪田、宝田、古賀副会長の新執行部に引き継がれることが決議されました。

新執行部が表明された目標としては、「大島丸代替船の早期建造」と「商船・電子機械・情報の 3 学科卒業生が集う同窓会活動の盛り上げ」です。また、学校存続維持に欠かせない新入生募集活動への同窓会支援についても議論されました。また、昨年は大島大橋への貨物船の衝突により中止された商船祭も行われ、「2 年分の思いを込めて」旗踊りが披露され、NHK のニュースでも報道されました。

(文責：岩崎 寛希)

## 弓削商船高等専門学校

### 岡山県日生港で実施した練習船「弓削丸」一般公開に来場者 200 人越え

令和元年 7 月 23 日（火）、岡山県備前市日生港において、商船学科 5 年生（航海コース）の航海実習の一環として、練習船「弓削丸」一般公開を実施しました。

地元の小中学校の児童・生徒・一般の人など合わせて 200 人を超える方が来場し、皆さんに練習船「弓削丸」や本校の概要などについて、色々と知っていただくことができました。

また、日生港に入港後は、備前市立日生中学校ブラスバンド部による歓迎演奏も行われました。夕刻には日生地区の海運企業を中心とした交流会も開催され、学生にとって大変貴重な時間となりました。地元新聞社や CATV からの取材、備前市長の訪問等もあり、盛大な一般公開となりました。



### 練習船「弓削丸」による体験航海「一日船長」を実施

令和元年 7 月 27（土）、28 日（日）の 2 日間、愛媛県松山市及び今治市で、練習船「弓削

丸」による体験航海「一日船長」を実施しました。

2 日間で計 101 名の親子が参加し、船や海に関わる仕事の説明を受けた後、船内各所を巡るスタンプラリーを行いました。子どもたちはそれぞれ、ラリーポイントを巡りながらブリッジで舵を取って操船したり、制御室で計器の説明を受けたり、デッキから望遠鏡で遠くの島や船を眺めたりと、思い思いに約 1 時間の船旅を楽しみました。ラリーポイントでは、本校学生が各所の説明を行い、参加者からの質問にはきはきと答え、一緒に記念撮影をする姿も見られました。体験航海の最後には、参加した子どもたち一人一人に記念として「船長証明書」が手渡され、笑顔で保護者のもとへ持ち帰り、誇らしげに見せていました。



参加者からは「船の中にこんなにすごいものがあると思わなかった。」「船長の服を着たり運転したりして楽しかったです。」「わかりやすい説明と優しい学生さんのお話が詰まった体験だったので大人も楽しめました。」等の感想が寄せられ、高い評価を得ることができました。

また、本校練習船「弓削丸」による体験航海を通じて、海事思想の普及を図ることで地域に対しても大いに貢献することができました。



## 夏休みチャレンジキャンパス 2019 を開催

令和元年 8 月 3 日 (土)、「夏休みチャレンジキャンパス 2019 ～さわって、つくって、科学を楽しもう！～」を開催しました。

本イベントは、子どもたちに様々な楽しい体験を通じて科学技術の素晴らしさ・楽しさ・夢を伝え、科学に対する興味や関心を持ってもらおうと、今回初めて実施したもので、当日は暑い中にもかかわらず約 160 名の方が来場しました。

「船長体験“操船シミュレータ”」、「ロボットプログラミングでドローンをとばそう」、「こんなゲームが作れるようになる！“アプレットゲームで遊ぼう”」、など、趣向を凝らした 14 の講座では、好奇心いっぱいの子もたちが初めての体験に目を輝かせながら、「弓削商船かかくはかせ号」の取得を目指して真剣に取り組んでいました。来場者からは、「体験したこと全てが初めてでとても楽しかった。」「小学校とは別の活きた体験ができた。」「我が子の興味があるものとなないものがはっきりわかり、今後の進路決定にも参考になった。」などの感想が寄せられました。



徳島県小松島市で練習船「弓削丸」乗船体験を実施

令和元年 9 月 10 日 (火) と 11 日 (水)、徳島県小松島市新港南岸壁において練習船「弓削丸」乗船体験を含む体験イベントを実施しました。

阿南市立桑野小学校、小松島市立千代小学校、小松島市立北小松小学校、勝浦町立勝浦中学校から 237 名の児童・生徒が乗船体験に参加し、岸壁イベントでは VR (バーチャルリアリティ) 体験やプログラムでロボット制御をすることなどを通して、本校の電子機械工学科と情報工学科の概要についても知ってもらいました。

参加した小中学校には、より理解を深めるために事前に本校から講師を派遣し、出前授業によって船の役割や乗船における留意事項などを講義しました。参加した児童・生徒の中には、「船に関わる仕事がしたい。」という声もあり、我々の生活における船の役割を十分に伝えることができました。



## 山口県から感謝状を贈呈

平成 30 年 10 月 22 日 (月) の山口県大島大橋損傷に伴う断水被害に際して実施した、練習船「弓削丸」による給水支援活動に対して、山口県から感謝状が贈呈されました。

令和元年 9 月 2 日 (月) に山口県庁で贈呈式があり、本校校長が山口県知事から感謝状を拝受しました。





### 令和元年度商船学科卒業式・専攻科（海上輸送システム工学専攻）修了式を挙

令和元年9月23日（月）、令和元年度商船学科卒業式・専攻科（海上輸送システム工学専攻）修了式を挙

行し、卒業生34名及び修了生2名に卒業証書・修了証書が授与されました。石田校長から「皆さんが素晴らしい人生行路を進まれることを祈念します。」と式辞が述べられました。

最後に、卒業生一同が「ごきげんようー！」の掛け声を放ち、全員の制帽が美しく宙を舞いました。卒業生・修了生たちの表情は、未来に胸を膨らませているかのように輝いて見えました。



（練習船弓削丸 森 瑛太郎 記）

### 弓削商船高専同窓会

同窓生のみなさんお元気でしょうか？

新年が始まり、同窓会も新たな年のスタートを迎えました。本年は2020年、新しい元号「令和」も昨年スタートして1年を迎え東京オリンピックも実施される年となります。弓削商船は1901年1月1日に弓削の青松白砂の地に開校して今年で120年が過ぎる年となります。来年1月11日の120年に向けて学校も記念式典をはじめ行事を実施する予定と聞いています。OBのみなさまには多大なご協力ご支援をお願いすることとなりますが、その折にはよろしく願いいたします。

### 新入会員（商船学科卒業式）の報告

昨年9月23日商船学科の卒業式、海上輸送システム工学専攻の修了式が学校にて行われました。残念ながら全員が同窓会へ入会していただいておりますが、また新入会員を迎えることになりました。ご入会いただいた卒業生の皆様の将来を同窓会ともども支えたいと考えておりますので、先輩方のご協力もよろしく願いいたします。ご入会いただいた新入会員のみなさま、あらためてご卒業おめでとうございます。

本年も航海科コース、機関科コースからそれぞれ1名ずつ同窓会より卒業表彰を行いました。本年の卒業生は航海科112期生、機関科83期生となります。



## ホームカミングデー実施報告

昨年11月9, 10日の商船祭においてホームカミングデーを実施いたしました。初めての試みで同窓会本部事務局も試行錯誤での開催となりましたが、商船祭へたまたま訪れたOBの方や、保護者懇談会で来校したOBの保護者の方などの訪問もあり、大変にぎやかな2日間となりました。

実施に当たっては学校図書館内にある史料館を利用いたしました。現在同窓会事務局もこちらの方で行っており、館内にある応接室を学校の許可をいただき利用させていただきました。

ホームカミングデーは卒業生に学校を訪れてもらうためのものであり、商船祭はこれにうってつけの行事です。近年大学や多くの高専でも実施されているようです。実施の方法はいろいろのようですが、今回は訪れていただいた方に女子学生の協力を得て手作りクッキーとお茶のサービス、土曜の昼にはたこ焼き、日曜日の昼はホテルフェスパへ移動して会長、校長も参加された懇親会を実施いたしました。

来年の実施においては未定ですが、今後さらなる工夫をした行事の実施を考えてみますのでご参加ください。

## 忘年会、新年会の報告とお知らせ

昨年末より、阪神、京浜、今治、高松、徳島支部において忘年会、新年会が開催されました。本年も1月今治支部新年会から予定されておりますので多くの参加者の方をお待ちしております。近々の情報は同窓会HPをご覧ください。

以上

本年も弓削商船高専同窓会、同窓生のみなさんよろしく願いいたします。

(E46期 副会長 益崎真治記)



# 海技教育機構

## ○ 乗船実習

高等専門学校4年生は、昨年の10月1日から日本丸（航海科104名）及び銀河丸（機関科90名）に分乗し、5ヶ月間の長期にわたる実習を行っております。

日本丸については、2020年1月6日に神戸港を出航し、シンガポールへ向けた遠洋航海を行っています。東京帰港は2月8日の予定です。

銀河丸については、主に内地航海による実習を継続しています。高等専門学校4年生は、2月一杯（実下船は2月10日を予定）の実習期間となります。

今回は、10月乗船時の日本丸、銀河丸での様子と12月までの実習の一部をご紹介します。

高等専門学校2年生は、3月1日から1ヶ月間、日本丸及び銀河丸の2船に分かれ、短期実習を行う予定です。



日本丸 乗船式（高専4年生 航海科）



銀河丸 乗船式（高専4年生 機関科）



航海系実習（ハンドキャプスタン整備）



機関係実習（機器配置調査）

## ○ 台風15号、台風19号の被災地への支援活動

国土交通省海事局からの要請により、青雲丸を9月の台風15号被災地へ派遣し、入浴設備、洗濯機及び電気機器の充電のためのコンセント提供等の支援活動を行いました。

また、10月の台風19号被災地においても青雲丸、宮古海上技術短期大学校にて同規模の支援を行いました。

今回、JMETSでは支援活動を実施するうえで、地元自治体及び国土交通省海事局（各運輸局も含む）と連携し、事前にSNSに掲載するなどの情報発信を行いました。また、青雲丸は急遽、航海訓練計画を変更しての支援活動をするにあたり、地元自治体、運輸局の方々からもご協力をいただきました。

航海訓練中の実習生は、支援に対してできる限りの協力を行いました。

被災された方々の生活の一刻も早い復旧、復興をお祈りするとともに、引き続き、災害時に冷静かつ的確な対応ができるよう、関係機関との連携を深めて参ります。





木更津港停泊中の青雲丸



木更津港での支援の様子



いわき市（小名浜港）での支援の様子



宮古海上技術大学校での支援の一部

### ○ 6 m カッターの寄贈

10月21日、館山海上技術学校が所有していた6 m カッターを宮古市に寄贈し、宮古市長より感謝状をいただきました。

宮古市は9 m カッターを使用する市民レースが実施されており、宮古市民のカッターに対する思いは非常に熱いものがあります。

しかし、女性や年少者などの一般市民が最初から9 m カッターを扱うのは難しいため、より扱いやすい6 m カッターの入手を希望する声が、宮古市より宮古海上技術短期大学校へ寄せられていました。

6 m カッター（10年ほど前に千葉新宿海洋少年団から館山海上技術学校に無償譲渡された）は、当初同校カッター部で横浜港カッターレース及び全日本女子カッターレース大会に向けた練習に使用していましたが、現在同部は9 m カッターを使用した練習に重点を置いており、そこで6 m カッターを、宮古校へ輸送し宮古市へ譲渡することとしました。輸送に際しては、青雲丸が10月初旬に館山湾に錨泊し、10月中旬に宮古港に寄港とし、同船で輸送しました。

予定どおり宮古市にカッターを引き渡すことができ、山本正徳宮古市長から、館山校及び青雲丸への感謝状を授与いただきました。

カッターは、今回の輸送に尽力した青雲丸に因み、「せいうん」と命名されました。

今後、宮古校も、宮古市が行う海事思想の普及を目的とした活動に協力することとなっています。



青雲丸でのカッターの積み込みの様子



6mカッターを青雲丸に因み「せいうん」と命名



宮古市長から JMETS 理事長へ感謝状の授与

○ 海事広報活動

日本丸（高等専門学校4年生航海科104名）が、兵庫県姫路市で開催される姫路港開港60周年・姫路市制施行130周年を記念して開催された「姫路港ふれあいフェスティバル」に合わせ、10月18日姫路港（飾磨4号岸壁）に入港しました。入港時には入港歓迎セレモニーが行われ、19日の午後、20日には船内の一般公開を実施しました。実習生（高等専門学校航海科）が主に船内の説明にあたり、多くの方にご来船をいただきました。



一般公開時の船上の様子

令和2年1月から3月までの乗船実習の予定は次のとおりです

○日本丸

- ・高等専門学校（航海科、機関科）4年  
1/5 神戸出港、1/19~23 シンガポール、  
2/8 東京着、2/10 下船
- ・高等専門学校2年  
3/1 乗船、3/4 東京発、3/9~13 横浜、3/19~23 大阪、3/27 横須賀着、3/31 下船

○海王丸

- ・大学（航海科）4年
- ・海技大学校専攻（航海科）1年  
1/5 乗船、1/8 東京発、1/17~21 須崎、  
1/30~2/3 鹿児島、2/13~2/17 鹿児島、  
2/21~2/25 細島、2/29~3/5 神戸、3/10 下船

○大成丸

- ・海上技術学校3年  
1/5 乗船、1/9 東京発、1/16~20 別府、  
1/27~1/31 門司、2/5~10 広島、  
2/17~2/2 神戸、2/28~3/3 名古屋  
3/8 神戸着、3/10 下船、入渠、3/26 東京

## ○銀河丸

- ・高等専門学校(機関科)4年
- ・海上技術短期大学校(波方)1年
- ・高等専門学校2年
- ・六級航海
  - 1/5 乗船(海短、六級航海)、1/8 神戸発、1/15~20 鹿児島、1/24~27 広島、2/3~2/6 大阪:六級航海下船、2/8~13 神戸:2/10 下船(高専4年)、2/21~25 別府、2/28~3/4 神戸:3/1 乗船(高専2年)、3/9~14 横須賀:3/10 下船(海短)、3/19~23 名古屋、3/28 東京着、3/31 下船(高専2年)

## ○青雲丸

- 大学(機関科)4年
  - 海技大学校専攻(機関科)1年
  - 海上技術短期大学校(波方)1年
  - 海上技術学校3年
    - 1/5 乗船(大学、海大、海短、海校)、1/7 東京発、1/16~20 博多、1/25~1/29 別府、2/8~2/12 神戸:2/10 下船(高専4年生機関科)、2/18~22 広島、2/28~3/3 鹿児島、3/7~3/11 神戸:3/10 下船(大学、海大、海短、海校)、入渠、3/30 横浜
- \*練習船の行動については、天候やその他の事由により予告なく変更があります。

## ○カレンダーの作成

「2020年版 JMETS オリジナルカレンダー」の販売を開始します。

今回はカレンダー制作に当たりJMETS各校の教員や各練習船の乗組員に加え、実習生からも広く写真を公募し、機構内に設置した選考委員会にて選ばれた写真を採用して制作しました。練習船や実習風景、船上からしか見られない貴重な風景の写真が多く用いられ、見応えのあるカレンダーとなっています。中には一般の方からご提供いただいた写真も使用されています。

各月にJMETS各校と練習船の行事予定が掲載されたページにアクセスできるQRコードがついており、カレンダーの最後には全校の年間行事予定表が掲載されています。

なお、この商品の売上げの一部は監修料としてJMETSに還元され、船員教育訓練の充実に図られます。

### 【海技教育機構オリジナルカレンダー】

値段:1部700円(税込、別途送料)

サイズ:納品時:縦26cm×横36cm

広げた時:縦51.5cm×横36cm

制作・販売:株式会社 交文社

<http://www.kobunsha-print.com/news/348>



カレンダーのイメージ

\*イメージとして掲載しております。詳細は上記、交文社のホームページをご覧ください。

海技教育機構は、ホームページ及びFacebook等のSNSを活用し、業務運営に関する情報、練習船における実習状況ならびに各寄港地でのイベント情報を発信しています。

是非ご覧ください。

HP: <http://www.jmets.ac.jp>

企画調整部企画課 長渕光司



## 本部・支部だより

- 2019/8/6 (独)海技教育機構練習船銀河丸  
菊池章友船長、高村謙二機関長  
遠洋航海出航前の挨拶来会  
(土屋、田島)
- 2019/8/15 (公財)日本殉職船員顕彰会主催  
「終戦記念日」献花式参列  
観音崎「戦没船員の碑」前にて全  
国戦没者追悼式の実況放送によ  
り開式、黙祷を奉げ、天皇陛下の  
お言葉の後閉会。(酒迎、土屋)
- 2019/9/2 令和元年度第1回東京地方船員  
労働安全衛生協議会(田島)
- 2019/9/6 第52回船員災害防止関東大会  
(田島)
- 2019/9/9 衛藤征士郎衆議院議員事務所訪  
問(酒迎、望月)岸信夫衆議院議  
員事務所訪問(酒迎、望月)  
赤池誠章参議院議員挨拶(酒迎、  
望月)阿達雅志参議院議員事務  
所訪問(酒迎、望月)
- 2019/9/10 執行役員会(酒迎、土屋、田島)
- 2019/9/10 国土交通省海事局 大坪海事  
局長挨拶、磯野大臣官房審議官  
挨拶(酒迎)
- 2019/9/10 船員労働安全衛生月間訪船指  
導 琉球海運「しゅんれII」  
(本望訪船指導員)
- 2019/9/11 (一社)海洋会 平塚会長、佐田  
専務理事挨拶(酒迎)
- 2019/9/11 衛藤征士郎衆議院議員挨拶  
(酒迎)
- 2019/9/13 船員労働安全衛生月間訪船指  
導 マルエーフェリー「琉球エ  
キスプレス5」(田島、本望訪船  
指導員)
- 2019/9/17 船員労働安全衛生月間訪船指  
導 シーライン「シンフォニー  
クラシカ・シンフォニーモデル  
ナ」(田島、本望訪船指導員)
- 2019/9/19 大島商船高等専門学校卒業式  
及び修了式参列(酒迎)
- 2019/9/19 船員労働安全衛生月間訪船指  
導 オーシャントランス「フェ  
リーりつりん」(田島、本望訪船  
指導員)
- 2019/9/20 富山高等専門学校卒業式及び  
修了式参列(土屋)
- 2019/9/21 広島商船高等専門学校卒業式  
及び修了式参列(望月)
- 2019/9/23 鳥羽商船高等専門学校卒業式  
及び修了式参列(飯島)  
弓削商船高等専門学校卒業式  
及び修了式参列(柏木)
- 2019/10/10 (一社)日本船主協会内藤会長  
挨拶(酒迎)  
(公財)海技教育財団 第15回  
奨学生選考委員会(田島)
- 2019/10/11 岸信夫衆議院議員事務所訪問  
(酒迎)  
赤池誠章参議院議員挨拶(酒  
迎・土屋)  
(独)国立高専機構・豊岡理事、  
土生木事務局長挨拶(酒迎)
- 2019/10/11 三菱モルガンスタンレー山本  
氏来会(酒迎・田島)
- 2019/10/18 第2回「東京地方船員安全労  
働衛生協議会(田島)
- 2019/10/18 三輪理事来会(酒迎、田島)
- 2019/10/19 第2回通常理事会(全員)
- 2019/10/28 (株)商船三井内航訪問(酒迎、  
土屋)
- 2019/10/29 赤池誠章参議院議員挨拶(酒迎)

- |            |   |            |   |
|------------|---|------------|---|
| 2019/10/30 | SECOJ 訪問 (酒迎、土屋)  | 2019/10/18 | 神戸観光局港湾振興課会費払込み                                   |
| 2019/11/6  | 自民党本部で開催「商船高専練習船更新と教育充実に向けての集会」参加 (酒迎・土屋、各同窓会長)。<br>財務省政務官及び文部科学省萩生田文部科学大臣陳情に参列 (酒迎・土屋) | 2019/10/25 | 定例会出席者 3 名  |
| 2019/11/6  | 林正芳参議院議員挨拶 (酒迎) 岸信夫衆議院議員事務所訪問 (酒迎) 坂本哲志衆議院議員挨拶 (酒迎) 赤池誠章参議院議員挨拶 (酒迎)                    | 2019/10/28 | といちクラブゴルフコンペ締切り日                                  |
| 2019/11/18 | 富山高専運営諮問会議 (土屋)   | 2019/10/5  | 定例会案内メール送信、はがき投函。                                 |
| 2019/11/20 | 執行役員会 (酒迎、望月、土屋、田島)   | 2019/11/11 | といちクラブゴルフコンペ開催、参加者 14 名                           |
| 2019/11/20 | 海事振興連盟通常総会 (酒迎)   | 2019/11/13 | 大阪湾水先人会、会費未納者追い出し作業                               |
| 2019/11/21 | 2020 年役員候補者選考委員会、第一回開催  | 2019/11/20 | 定例会出席者 5 名  |
| 2019/11/21 | 国土交通省海事局海技課挨拶 (酒迎、土屋)   | 2019/11/25 | 年賀状作成   |
| 2019/11/22 | 第 1 回創立 90 周年記念小冊子編集委員会開催   | 2019/11/27 | ビル管理組合総会次年度理事長就任、<br>広島商船校友会関西支部長交代挨拶、小林孝市氏から桂幹治氏 |
|            |   | 2019/12/2  | 定例会案内 MAIL 送信、はがき投函                               |
|            |   | 2019/12/16 | ビル管理組合理事会   |

## < お 知 ら せ >

(一社) 全日本船舶職員協会は 2020 年 4 月 11 日に創立 90 周年を迎えます。協会として創立 90 周年を迎えるにあたり記念事業を下記により実施予定です。

### 記念祝賀会

日時：2020 年 4 月 11 日 (土)

12:00~14:00

場所：ホテルマリナーズコート東京

なお、同事業の一環として小冊子を発行すべく準備を進めています。

つきましては、90 周年に相応しい記録・画像があればご提供いただければと思います。しておりますので、ご協力お願いします。

## < 神 戸 支 部 >

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 2019/8/9   | 新 PC SETTING 作業       |
| 2019/8/30  | 新電話設置                 |
| 2019/9/2   | 定例会案内メール送信、はがき投函。     |
| 2019/9/9   | 新規会員岩政佳和氏入会申込み。必要書類送付 |
| 2019/9/17  | 岩政佳和氏会費振込             |
| 2019/9/25  | 定例会出席者 4 名            |
| 2019/10/2  | 定例会案内メール送信、はがき投函。     |
| 2019/10/4  | 荒ゴミ収集日                |
| 2019/10/11 | 空調フィルター清掃作業           |

2019年12月9日

## 役員立候補者募集告示

一般社団法人全日本船舶職員協会  
役員候補者選考委員会委員長

一般社団法人全日本船舶職員協会は、役員（理事・監事）の任期が2年となっており、現役員の任期は2020年度通常総会をもって終了いたします。

そのため、以下の要領で候補者を公募して2020年6月に予定される通常総会において新役員を選任することを下記の通り告示いたします。

記

### 募集要項

#### 1. 立候補資格（役員候補者選考規則、第8条）

正会員で、会費を3年以上未納となっていないこと。

#### 2. 募集する役員の種類（定款、第24条、役員候補者選考規則第4条、第5条）

理事10名以上15名以内（役員候補者選考規則第8条2項の3名を含む）。監事2名。  
役員候補者選考規則第4条により、次の立候補区分から理事及び監事の立候補者を募ります。

- (1) 富山高等専門学校商船学科卒業者
- (2) 鳥羽商船高等専門学校商船学科卒業者
- (3) 弓削商船高等専門学校商船学科卒業者
- (4) 広島商船高等専門学校商船学科卒業者
- (5) 大島商船高等専門学校商船学科卒業者
- (6) 上記を除く本協会の正会員

各区分毎の立候補定員に満たない時、または超過した場合は役員候補者選考委員会が理事会で決めた各推薦数（理事2名、監事は輪番制）を基に調整させていただきます。

#### 3. 募集期間

募集開始 2019年12月9日（月）

募集締め切り 2020年 1月20日（月）（立候補届は締切日までに全船協本部に必着のこと。）

#### 4. 立候補届の書式並びに提出先

別紙書式若しくは、同書式記載の項目を記載した文書・電子メール・FAXなど記録に残る方法により提出してください。



役員に当選するためには、**全会員数の過半数以上の得票が必要です**、会員が投票しやすいよう自らの立候補の抱負や意見を記入してください。

#### 宛先

郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-32 金子ビル 206号

(一社)全日本船舶職員協会 役員候補者選考委員会委員長 宛

電子メール honbu@zensenkyo.com

FAX 03-3230-2653

### 5. 役員選考の流れ

役員選考の流れは、役員候補者選考委員会により立候補者を確定し、その名簿を3月予定の第3回理事会に総会の議案として提案されます。

この理事会決定を受けて総会議案として5月早々に全会員に通知いたします。会員は、この立候補者に投票してください。投票方法として、次の方法があります。

① 総会（6月）に直接参加して各候補者に投票する場合。

② 総会に参加できないので書面評決を行う場合。

議案書に同封された投票用紙に、各候補者への投票を行い（書面評決）本部に送付する。この意思表示はメールやFAXなど電子的方法でも良い。

③ 総会に参加できないので、代理の人に代理出席してもらい投票する。

④ 総会に参加できないので委任する。

総会に参加する会員に委任し、投票を委任者の意思にゆだねる。

総会で得票の多い順に当選者が選任されます。

### 6. 会長・副会長・専務理事の選出

選任された理事により、総会后臨時理事会を開催し互選により、会長・副会長（2名以内）・専務理事（1名）を選定します。この3役は定款上の業務執行理事となります。

## 参考資料

### 立候補届

2019年12月9日～2020年1月20日

### 役員任期・報酬・職務など

#### 1. 役員任期（定款第28条）

選任後2年以内に終了する事業年度の内最終のものに関する通常総会の時までとする。  
再任は妨げない。

#### 2. 役員報酬（定款、第30条）

役員は無報酬とする。但し、常勤の役員には、その職務執行の対価として報酬を支給することができる。また、役員には職務を執行するに要する費用を支払う事が出来る。

#### 3. 理事の職務（理事会運営規則、第15条）

理事会が決議すべき事項は、次のとおりとする。

##### (1) 法令に定める事項

- ① 本協会の業務執行の決定
- ② 代表理事(並びに業務執行理事)の選定・解職
- ③ 総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定
- ④ 重要な財産の処分及び譲受
- ⑤ 多額の借入
- ⑥ 重要な使用人の選任・解任
- ⑦ 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
- ⑧ 内部管理体制の整備
- ⑨ 定款第31条に規定する理事の取引の承認
- ⑩ 事業計画書及び収支予算書等の承認
- ⑪ 事業報告及び計算書類等の承認
- ⑫ その他法令に定める事項

##### (2) 定款に定める事項

- ① 規則の制定、変更及び廃止
- ② 会長、副会長、専務理事の選定・解職
- ③ 公益目的不可欠特定財産の維持、管理及び処分の決定
- ④ 基本財産の維持、管理及び処分の決定
- ⑤ 委員会の設置・運営に必要な事項の決定
- ⑥ 定款第32条の責任の一部免除
- ⑦ その他定款に定める事項

##### (3) その他重要な業務執行に関する事項

- ① 重要な事業その他の契約の締結、解除、変更
- ② 重要な事業その他の争訟の処理
- ③ その他、理事会が必要と認める事項

#### 4. 理事会の種類及び開催(定款、第37条)

- 1 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の2種とする。
- 2 通常理事会は、毎事業年度4カ月以上の間隔で2回以上開催する。
- 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
  - (1) 会長が必要と認めたとき
  - (2) 会長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって会長に招集の請求があったとき
  - (3) 前号の請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会招集の通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
  - (4) 第27条第5号の規定により、監事から会長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき
- 4 理事の理事会への委任や代理出席は、できない。

#### 5. 監事の職務・権限(定款、第27条)

監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行の状況を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成すること
- (2) 本協会の業務及び財産の状況を調査すること、並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を監査すること
- (3) 総会及び理事会に出席し、必要あると認めるときは意見を述べること
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれのあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを総会及び理事会に報告すること
- (5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること
- (6) 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査結果を総会に報告すること
- (7) 理事が本協会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれがある場合において、その行為によって本協会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その理事に対しその行為をやめることを請求すること
- (8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること



## 立 候 補 届

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
 役員候補者選考委員会委員長 殿

役員候補者選考規則第 10 条に基づき、2020 年役員選挙への立候補をお届け  
 します。

年 月 日

項 目	内 容	
立候補する役職	理 事      監 事	(どちらかに○印)
立候補者名		
会員番号		
自宅住所		
経歴 (学歴)		
抱負・意見		
生年月日		
連絡先	電話	
	F A X	
	E - mail	

氏名 \_\_\_\_\_ 印

## 立 候 補 届 (推薦)

一般社団法人 全日本船舶職員協会  
 役員候補者選考委員会委員長 殿

役員候補者選考規則第 10 条に基づき、2020 年役員選挙への立候補者の推薦  
 をお届けします。

年 月 日

項 目	内 容	
立候補する役職	理 事	監 事 (どちらかに○印)
立候補者名		
会員番号		
自宅住所		
経歴 (学歴)		
推薦理由		
生年月日		
連絡先	電話	
	F A X	
	E - mail	

推薦者 氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

## 2019年度賛助会員名簿(順不同)

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

	団体・企業名	住 所	
		連絡先&HP	電 話 HP URL
1	広島商船校友会	住 所	〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町4272-1 広島商船高専内
		連絡先&HP	電話 08466-5-3899 HP <a href="https://koyukai.wixsite.com/tayori">https://koyukai.wixsite.com/tayori</a>
2	弓削商船高専同窓会	住 所	〒794-2506 愛媛県越智郡弓削町下弓削1000弓削商船同窓会 事務局
		連絡先&HP	電話 0897-77-3000 HP <a href="http://www.yuge-kosen.com/">http://www.yuge-kosen.com/</a>
3	北斗会	住 所	〒933-0235 富山県射水市海老江練合1-2富山高専専門学校内
		連絡先&HP	電話 0766-86-5105 HP <a href="https://www.toyama-hokutokai.net/">https://www.toyama-hokutokai.net/</a>
4	大島商船高専同窓会	住 所	〒742-2193 山口県大島郡周防大島町小松1091-1 大島商船高専内
		連絡先&HP	電話 0820-74-5440 HP <a href="https://oshima-k.jp/">https://oshima-k.jp/</a>
5	鳥羽商船同窓会	住 所	〒517-0012 三重県鳥羽市池上町1-1 鳥羽商船高専専門学校内
		連絡先&HP	電話 0595-25-8000 HP <a href="https://toacmtdousoukai.sakura.ne.jp/?page_id=634">https://toacmtdousoukai.sakura.ne.jp/?page_id=634</a>
6	株式会社コトラスシステム	住 所	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-12-13 日本橋射佐ビル3階
		連絡先&HP	電話 03-3245-6975 HP <a href="http://cotrasystem.com/">http://cotrasystem.com/</a>
7	北星海運株式会社	住 所	〒104-0031 東京都中央区京橋2-18-2
		連絡先&HP	電話 03-3564-5050 HP <a href="http://www.hokuseikai.co.jp/index.html">http://www.hokuseikai.co.jp/index.html</a>
8	山友汽船株式会社	住 所	〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通2-1-1 2F多聞ファミビル
		連絡先&HP	電話 078-371-5505 HP <a href="http://www.sanyukisen.co.jp/index.html">http://www.sanyukisen.co.jp/index.html</a>
9	株式会社バンドエスエナプライズ	住 所	〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通2丁目1-1
		連絡先&HP	電話 078-361-6971 HP <a href="http://www.bands-k.com/index.html">http://www.bands-k.com/index.html</a>
10	株式会社SEALS	住 所	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町23番地日土地山下町ビル14階
		連絡先&HP	電話 045-222-7866 HP <a href="https://seals-japan.co.jp/">https://seals-japan.co.jp/</a>
11	栗林商船株式会社	住 所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号新大手町ビル3階
		連絡先&HP	電話 03-5203-7981 HP <a href="https://www.kuriyashishosen.com/">https://www.kuriyashishosen.com/</a>
12	名古屋メッキ工業株式会社	住 所	〒456-0033 愛知県名古屋市中区熱田区花表町16番11号
		連絡先&HP	電話 052-882-5541 HP <a href="https://www.nagoya-mekki.com/">https://www.nagoya-mekki.com/</a>
13	八馬汽船株式会社	住 所	〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町74番地
		連絡先&HP	電話 078-334-3914 HP <a href="https://www.hachiuma.co.jp/">https://www.hachiuma.co.jp/</a>
14	大四マリン株式会社	住 所	〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目2番16号田町イーストビル五階
		連絡先&HP	電話 03-5439-0269
15	NSユナイテッド内航海運株式会社	住 所	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアビル22階
		連絡先&HP	電話 03-6895-6509 HP <a href="http://www.nsu-naiko.co.jp/">http://www.nsu-naiko.co.jp/</a>
16	太平洋産業貿易株式会社	住 所	〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野1-7-8
		連絡先&HP	電話 045-846-6300 HP <a href="http://www.tst-japan.com/page1">http://www.tst-japan.com/page1</a>
17	旭運輸株式会社	住 所	〒455-0032 愛知県名古屋港区入船二丁目4番6号名港ビル
		連絡先&HP	電話 052-651-1111 HP <a href="https://www.auk.co.jp/">https://www.auk.co.jp/</a>
18	鹿島港湾運送株式会社	住 所	〒314-0141 茨城県神栖市居切660-4
		連絡先&HP	電話 0299-92-4891 HP <a href="http://www.kku.co.jp/">http://www.kku.co.jp/</a>
19	塩港運株式会社	住 所	〒985-0000 宮城県塩竈市禎山通一丁目6番8号
		連絡先&HP	電話 022-364-5111 HP <a href="http://shiogama-koun.co.jp/">http://shiogama-koun.co.jp/</a>
20	上野トランステック株式会社	住 所	〒135-0091 東京都港区台場2-3-2 台場フロンティアビル10階
		連絡先&HP	電話 03-5500-3123 HP <a href="https://www.uveno-group.co.jp/group/uveno/">https://www.uveno-group.co.jp/group/uveno/</a>
21	株式会社 ウシオ	住 所	〒652-0813 兵庫県神戸市兵庫区兵庫町2-3-27
		連絡先&HP	電話 078-652-2065 HP <a href="http://ushio-kk.co.jp/">http://ushio-kk.co.jp/</a>
22	株式会社ハマテクノサービス	住 所	〒260-0822 千葉県千葉市中央区蘇我2-2-25
		連絡先&HP	電話 043-208-2600
23	宮城マリンサービス株式会社	住 所	〒985-0011 宮城県塩竈市貞山通一丁目8番35号
		連絡先&HP	電話 022-694-5601 HP <a href="http://www.miyagimarine.co.jp/">http://www.miyagimarine.co.jp/</a>
24	有限会社システムエンジニアリング	住 所	〒289-1223 千葉県山武市埴谷2225-73
		連絡先&HP	電話 0475-89-3277
25	日本ガスライン株式会社	住 所	〒790-0003 愛媛県松山市三番町12番地7三井住友海上松山三番町ビル6F
		連絡先&HP	電話 089-931-8137 HP <a href="http://ngl.co.jp/">http://ngl.co.jp/</a>
26	日本栄船株式会社	住 所	〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通五番地商船三井ビル
		連絡先&HP	電話 078-331-3625 <a href="https://nihon-eisen.co.jp/">https://nihon-eisen.co.jp/</a>
27	名阪船舶株式会社	住 所	〒552-0022 大阪府大阪市港区海岸通3-2-2
		連絡先&HP	電話 06-6572-6221 <a href="http://www.meihansenpaku.co.jp/">http://www.meihansenpaku.co.jp/</a>
28	菅原汽船株式会社	住 所	〒737-0045 広島県呉市本通2-1-23 大同生命ビル7階
		連絡先&HP	電話 0823-27-3588 <a href="http://sugaharakisen.co.jp/co_summary.html">http://sugaharakisen.co.jp/co_summary.html</a>
29	株式会社商船三井内航	住 所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-1-1 商船三井ビル3階
		連絡先&HP	電話 03-6230-2011 <a href="https://www.mol-naikou.co.jp/">https://www.mol-naikou.co.jp/</a>
30	株式会社アキタフーズ	住 所	〒720-0814 広島県福山市光南町3-7-30
		連絡先&HP	電話 084-926-8222 <a href="https://www.akitamago.co.jp/">https://www.akitamago.co.jp/</a>
31	戸田汽船株式会社	住 所	〒799-0413 愛媛県四国中央市中曾根町1616番地
		連絡先&HP	電話 0896-23-3235

2019年12月1日現在



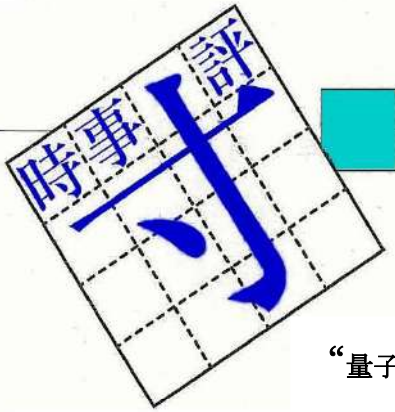
# 会費納入者芳名帳（敬称略）

2019年8月1日～2018年11月30日

<b>2018年分</b>	埜 智子	横田 大樹	平山 俊夫	栄 雄生
渡部 英利	武村 泰宏	林 知葉	田中 英治	河野 理博
田中 英治	西山 貴治	米山 拓吟	小林 孝市	千道 英雄
<b>2019年</b>	近藤 武	北川 剛太郎	柴田 周平	上野 昇
<b>8月個人入金</b>	中川 佳彦	村林 伊織	矢澤 好正	加藤 郁夫
西原 勇樹	森成 哲也	竹俣 多聞	針生 あや	<b>10月入金</b>
戸田 順一郎	高尾 幸徳	美濃 春香	沖本 和也	竹中 義朗
山田 剛史	佐野 博	宮川 恭輔	松見 準	二ツ石 聖示
香林 大介	峯 浩	水野 凌太郎	東野 友和	秦 眞三
<b>9月個人入金</b>	中川 和俊	矢山 隆太郎	阿久根浩人	原田 圭司
澤 裕之	武田 雄三	合原 礼雄	田中 英治	三好 閔昌
杉本 真吾	小田部誠一	小山 寛	飯野 実	山岡 啓二
杉山 秀光	松田 孝	木村 祐太郎	安部 眞一	赤松 健康
中居 豊平	伴 良造	森 海斗	舘山 広利	森 信一郎
清水 貢	中瀬 和典	平野 知洋	内田 成孝	桑田 大輝
東 誠	岡田 卓三	大澤 恵次	菅沼 延之	内野 光博
木下 一延	本望 隆司	竹内 航平	下野 紘史	岩本 正直
中山 隆志	安達 勇治	西村 臣正	厚東 貞治	原田 博之
岩本真菜美	野場 修治	濱口 澄夫	有光 和生	白井栄三郎
升田万寸穂	山口正二郎	西谷 勇二	秋山 晃満	一木 久徳
木下 博	松田 伸一	西谷 直記	西 泰浩	堀田 規安
田島 孝一	木場 恭平	吉本 茂正	國武 千歳	町 裕次
岩切 等	高濱 翔	藤井 一洋	渡辺 隆彦	福山 道夫
澤田 敬生	三浦 大路	南 清和	小谷 佳秀	森下 昂
堀川 広了	矢原 康平	内田 安昭	濱田 雅秀	坂部 正憲
安岡 征治	瀬戸 翔	舘 満治	栗阪 肇	濱尾 弘宣
新田 泰弘	吉田 義秀	富永 栄治	城戸 裕晶	西村 陽造
里本 幸大	間所 森	岡田 輝幸	濱本 奈	伊庭野 紀弘
小林 大	和高 蒼太	小松 和夫	田中 友美	岩本 利雄
吉澤 勇	藤村 英輝	春田 三郎	渡辺 拓弥	三輪 史郎
橋本 禎成	生野 藍	市川 博康	小池 信雄	鬼木 海

寒河江芳美	川島 弘行	棚田 敏生	合原 礼雄	笹野 莉子
西脇 将智	小谷 卓哉	杉江 直也	小山 寛	黒川 耀工
井波 稔	永井 仁	木村 祐太郎	大島商船高専	木村 太一
津田 道夫	渡部 英利	鳥羽商船高専	藤本 裕太	川崎 壮庸
竹田 英樹	矢野 芳秀	高田 尚志	富本 亜里沙	岡本 直也
師富 潤	寺田 千穂	橋井 太志	齋藤 香澄	大本 隆介
石井 聖二	久語 龍摩	太田 敦己	吉永 廉	池内 大雅
今村 義幸	角谷 綾真	広島高専	大町 颯人	赤木 剛
大原 智喜	中村 政一	2018年卒	樋口 宙寛	室田 大成
中川 敏昭	吉田 康二	木場 恭平	上野 勇介	村上 寛起
小島 健次郎	早稲田慎也	高濱 翔	赤崎 凜平	宮崎 将
内藤 真世	鈴木 晴敏	三浦 大路	山縣 和也	宮崎 匠
松浦 浩三	伏見 慎一	矢原 康平	田中 大士	松岡 理人
吉村 重登	濱地 義法	瀬戸 翔	稲田 優翔	竹井 潮
加藤 航	分部 久	吉田 義秀	森中 隆	滝口 智
日朝 俊哉	錦Jマイン	間所 森	牧野 綜太	高橋 佑弥
藤中 恒夫	嵐 公司	和高 蒼太	岡松 諒於	杉本 和駿
山下 栄治	原田 昭二	藤村 英輝	好野 由芽美	坂本 渚
土屋 秀生	佐藤 信義	生野 藍	奥田 純平	近藤 拓斗
横山 良一	梶原 仁	横田 大樹	弓削商船高専	越智 匡輝
11月入金	杉山 博	林 知葉	宮本 多聞	岡久 正志
宮鍋 裕介		米山 拓吟	秋山 裕太	岡 駿典
山田 司	新卒会員	北川 剛太郎	森口 大樹	濱尾 弘宣
木場 恭平	富山高専	村林 伊織	眞部 将麻	
曾我 隆弘	丸岡 大志	竹俣 多聞	松井 大成	
徳森 生喜	澤井 建毅	美濃 春香	前田 実知也	物故者
眞鍋 治	上田 啓太	宮川 恭輔	福場 奏	7月以降
畑内 康孝	松井 拓海	水野 凌太郎	濱田 潔	平山 俊夫
石原 弘通	山東 寛	2019年卒	中村 友菜	横山 和弘
高野 功	門島 陸	新沼 拓巳	鶴村 凜太郎	
宮坂 昌弘	高村 颯介	矢山 隆太郎	高松 奨	





## “量子コンピューター出現”

コンピューターの出現から 20 年余り黎明期があり、現在ではコンピューター無しでは生活できなくなっている。IT 技術の進歩は留まる所を知らない如き速さである。

人工知能(AI)などに続く革新的な技術として期待される“量子コンピューター出現”。

スーパーコンピューターを遙かに超える、スパコンで 1 万年かかる計算を瞬時に解く実験に成功したようだ、即ちスパコンの 15 億倍のスピードである。

英国フィナンシャル タイムズは 9 月にグーグルが「量子超

越」したと報じている。

量子コンピューターは「量子力学」という物理法則に従って動く、コンピューターの基本動作は「0」か「1」で情報を表示するが量子力学の世界は「0 であり、かつ 1 でもある」という特殊な状態が起こりうる。

この仕組みを利用した「量子ビット」と呼ぶ計算単位を使うことで膨大な情報も纏めて処理できる。

今回グーグルは量子ビットを 53 個つなげたが今後 100、200 と増やし、100 万レベルに 10 年後を目指して開発して行くようである。

量子コンピューターの出現で課題も出てきそうである、インターネットの安全装置である暗号が解読され役立たず、新たな問題が発生する可能性がある。

世の中の変化に対応できるように心掛けたいものがある。

(土屋 記)

## 表紙写真 静かなアドリア海を悠々と進む「AGORA III」 撮影 マウリツィオ パラディチ 氏

今回の表紙写真は、イタリアのアンコーナの ISAYACHTS (イサ造船所) で建造され、進水式を終えた直後の写真です。静かなアドリア海を悠々と進む「AGORA III」は、日本では比類なき品格の高い最大級のプレジャーボートです。

本船の要目は概略次の通りです。

竣工年月日：2019 年 2 月 22 日 総トン数：378G/T 全長：43.00m 全幅：8.10m

航海速力：18.00 ノット

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会は史上初のベスト 8 進出を成し遂げた日本代表で大いに盛り上がりを見せました。“にわかラグビーファン”も日本の躍進、しかも単に勝つだけでなく、劇的なシーンの連続で急増し、新たなファン層を掘り起こしました。

2020 年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック大会です。56 年ぶり 2 回目となる開催です。自国開催ということで日本チームにはたくさんのメダル獲得が期待されます。

(飯島 記)

全船協 No.142 新春号

2020 年 1 月発行

◇発行所：一般社団法人 全日本船舶職員協会 ◇編集兼発行人 土屋 正徳  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目 32 番地 金子ビル 206 号室  
TEL 03-3230-2651 FAX 03-3230-2653

E-mail : [honbu@zensenkyo.com](mailto:honbu@zensenkyo.com)

URL : <https://www.zensenkyo.com>





Tokyo Bay Licensed Pilots' Association

東京湾水先区水先人会

会長 船藏和久

〒231-0023 横浜市中区山下町1番2 パイロットビル(代表) TEL (045) 650-3180 FAX(045) 663-4811  
(オペレーション部) TEL (045) 681-4081 FAX(045) 681-4090  
URL:<http://www.tokyobay-pilot.jp> TEL (045) 681-4091



内海水先区水先人会

Licensed Inlandsea Pilots' Association

会長 末岡民行

〒650-0042  
神戸市中央区波止場町5番4号中突堤中央ビル4階  
電話 (078) 332-7191 FAX (078) 391-7157  
E-MAIL [info@inlandsea-pilots.jp](mailto:info@inlandsea-pilots.jp)

・海技教育支援事業 ・奨学金事業  
・帆船海王丸体験航海事業 等

公益財団法人 海技教育財団

会長 朝倉次郎

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4  
電話 (03) 3288-0991 URL <http://www.nacfi.jp>



伊勢三河湾水先区水先人会

ISE MIKAWA WAN PILOTS ASSOCIATION

会長 上原 雅

〒475-0831 愛知県半田市11号地1番5  
電話 (0569) 23-0713

関門水先区水先人会

会長 橋本敏道

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目4番24号  
電話 (093) 332-2384(代)

鹿島水先区水先人会

会長 郡 茂典

〒314-0052 茨城県神栖市居切1909-16  
電話 (0299) 82-5515  
FAX (0299) 82-6205

大阪湾水先区水先人会

会長 小見山 純郎

〒650-0042 神戸市中央区波止場町1-5  
電話 (078) 321-7221  
FAX (078) 321-5307

海と港の仲間の福祉をめざす!!

一般社団法人 **横浜海洋福祉協会**

代表理事会長 相川 康明

〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1 大棧橋総合ビル2F  
電話 045-201-0882 FAX 045-201-1083

# 船長論

引き継がれる海の精神

船長職の何たるかについて、その職務・職責、指揮管理と教育、海難と法、そして、船長としての気質・気概、精神に関して詳述。  
将来、船員となり船長を目指すとする学生、すでに航海士の職にある方、さらに、意欲旺盛なれど不安を払拭できないでいる駆け出しの船長の方々に、ぜひ読んでほしい。

逸見真 著

A5上製判 368頁  
定価(本体3600円+税)



# 咸臨丸の絆

増補改訂版

軍艦奉行 木村摂津守と福沢諭吉

宗像善樹 著

四六判 272頁  
定価(本体1300円+税)

明治から昭和を生き抜いた船

# 信濃丸の知られざる生涯

宇佐美昇三 著

四六判 184頁  
定価(本体1500円+税)

2018年度住田正一海事史奨励賞

〒112-0005 東京都文京区水道 2-5-4  
TEL 03-3815-3291 FAX 03-3815-3953

## 海文堂出版

<http://www.kaibundo.jp/>  
e-mail: hanbai@kaibundo.jp



## 海事関係の皆様へ

ご宿泊からご宴会・会議等各種会合まで。  
海事関係の皆様から船乗り達が集う憩いの場所として親しまれております。

海事関係のお客様は全日本海員組合の組合員のご紹介があれば特別価格にてご利用いただけます

HOTEL  
**Mariners' Court TOKYO**

ホテルマリナーズコート東京 〒104-0053 東京都中央区八潮南 4-7-28 TEL.03-5560-2525 (代表)

### 宿泊設備(海員会館)のご案内

ご宿泊・お食事・ご会合に、どなたでもご利用頂けます。

ナビオス横浜



1階 レストラン  
**Ocean**  
RESTAURANT

※写真はイメージです。

ナビオス横浜



3階 バーラウンジ  
**Seamen's Club**



**ナビオス横浜**  
International Seamen's Club & Inn  
TEL : (045) 633-6000

川崎海員会館 TEL : (044) 233-5896

エスカル横浜 TEL : (045) 681-2141

エスカル神戸 TEL : (078) 341-0112

一般財団法人日本船員厚生協会(045)319-4506

ホームページ <https://www.jswa.or.jp>

### ■ センボスの宿・健康診断 ■



一般財団法人  
**船員保険会**

会長 霜鳥 一彦

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6  
SEMPOSビル 6・7階  
電話 (03) 3407-6061 FAX (03) 3407-6597  
URL <http://www.sempos.or.jp>

## 清水水先区水先人会

会長 中村 政一

副会長 日比野 雅彦

〒424-0922 静岡市清水区日の出町10番80号  
清水マリナーズターミナル3F  
電話 (054) 352-2191  
FAX (054) 351-0527